

第1部 福島県の水道の概要

第1章 水道の普及状況

1 普及率

令和5年度末の現在給水人口は1,646,292人で、県総人口1,750,200人に対する普及率は94.1%と、前年度の93.9%から0.2ポイント上昇した。東日本大震災及び東京電力福島第1原子力発電所の事故以前の普及率(92.4%)と比較すると1.7ポイント上昇しているが、これは行政区域内総人口を下記のとおり取り扱った事による見かけの普及率が上昇したためであり、単純に普及率が上昇したとみることはできない。

市町村別の普及率は、市95.4%、町87.6%、村88.0%であり、前年度と比較すると、市部では0.1ポイント増、町部で0.8ポイント増、村部で0.3ポイントの増となっている。

市部の普及率に比べて町村部の普及率が低い状況は以前と変わらず、市部と村部では格差が生じている。

普及率が微増してはいるが、全国水道普及率98.2%と比較すると、依然として低い水準に留まっている。

普及率が95%以上の市町村数は25で2減、50%未満の市町村数は前年度と同数の2であった。(下記の取り扱いを行った町村は除く。)

○本調査における行政区域内総人口

直近(令和2年)の国勢調査のデータを基に県統計課が公表した人口としており、大熊町、双葉町及び浪江町分は計上していない。

市町村別現在給水人口と普及率

(令和6年3月31日現在)

区 分		市	町	村	計	
総 人 口 (人)		1,451,784	229,515	68,901	1,750,200	
給 水 人 口 (人)	上 水 道	1,363,568	178,688	46,474	1,588,730	
	簡 易 水 道	18,237	21,724	13,382	53,343	
	内 訳	公 営	15,875	21,398	13,382	50,655
		民 営	2,362	326	0	2,688
	専 用 水 道	2,871	564	784	4,219	
	計	1,384,676	200,976	60,640	1,646,292	
普 及 率 (%)		95.4	87.6	88.0	94.1	

令和5年度 市町村別水道普及率

	市町村名	総人口 (人)	給水人口 (人)	普及率 (%)		市町村名	総人口 (人)	給水人口 (人)	普及率 (%)
北	福島市	272,854	269,136	98.6	南	白河市	56,711	54,551	96.2
	二本松市	50,899	44,853	88.1		西郷村	20,979	20,621	98.3
	伊達市	55,182	51,085	92.6		泉崎村	5,959	5,054	84.8
	本宮市	29,907	29,396	98.3		中島村	4,666	4,513	96.7
	桑折町	10,901	10,566	96.9		矢吹町	16,954	15,820	93.3
	国見町	7,964	7,671	96.3		棚倉町	12,489	12,233	98.0
	川俣町	11,081	10,192	92.0		矢祭町	4,986	4,624	92.7
	大玉村	8,924	8,748	98.0		埴町	7,754	6,147	79.3
	小計	447,712	431,647	96.4		鮫川村	2,737	1,405	51.3
中	郡山市	319,520	311,915	97.6	小計	133,235	124,968	93.8	
	須賀川市	72,444	66,804	92.2	会津若松市	111,697	106,875	95.7	
	田村市	32,626	18,512	56.7	喜多方市	42,046	38,114	90.6	
	鏡石町	12,065	11,766	97.5	北塩原村	2,277	2,251	98.9	
	天栄村	4,856	4,710	97.0	西会津町	5,232	4,175	79.8	
	石川町	13,641	10,727	78.6	磐梯町	3,106	3,099	99.8	
	玉川村	5,945	5,280	88.8	猪苗代町	12,495	12,138	97.1	
	平田村	5,338	2,756	51.6	会津坂下町	13,992	13,231	94.6	
	浅川町	5,608	5,539	98.8	湯川村	2,914	2,910	99.9	
	古殿町	4,383	3,952	90.2	柳津町	2,764	2,562	92.7	
	三春町	16,366	14,105	86.2	三島町	1,284	1,220	95.0	
	小野町	8,669	4,363	50.3	金山町	1,685	1,656	98.3	
	小計	501,461	460,429	91.8	昭和村	1,120	982	87.7	
					会津美里町	17,530	15,197	86.7	
				小計	218,142	204,410	93.7		

全国水道普及率	98.2%
---------	-------

(令和6年3月31日現在)

	市町村名	総人口 (人)	給水人口 (人)	普及率 (%)
南 会 津	下郷町	4,692	3,925	83.7
	檜枝岐村	477	477	100.0
	只見町	3,613	3,376	93.4
	南会津町	12,996	12,715	97.8
	小計	21,778	20,493	94.1
相 双	いわき市	318,946	312,109	97.9
	相馬市	32,996	31,935	96.8
	南相馬市	55,956	49,391	88.3
	広野町	5,194	0	0.0
	檜葉町	3,403	0	0.0
	富岡町	1,089	0	0.0
	川内村	1,779	246	13.8
	大熊町	0	0	0.0
	双葉町	0	0	0.0
	浪江町	0	2,447	0.0
	葛尾村	299	146	48.8
	新地町	7,579	7,530	99.4
	飯舘村	631	541	85.7
	小計	427,872	404,345	94.5
合 計	1,750,200	1,646,292	94.1	

(注)令和5年度は、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故の影響で一部市町村において下記のとおり行政区域内総人口又は給水人口のデータが算出できなかった。

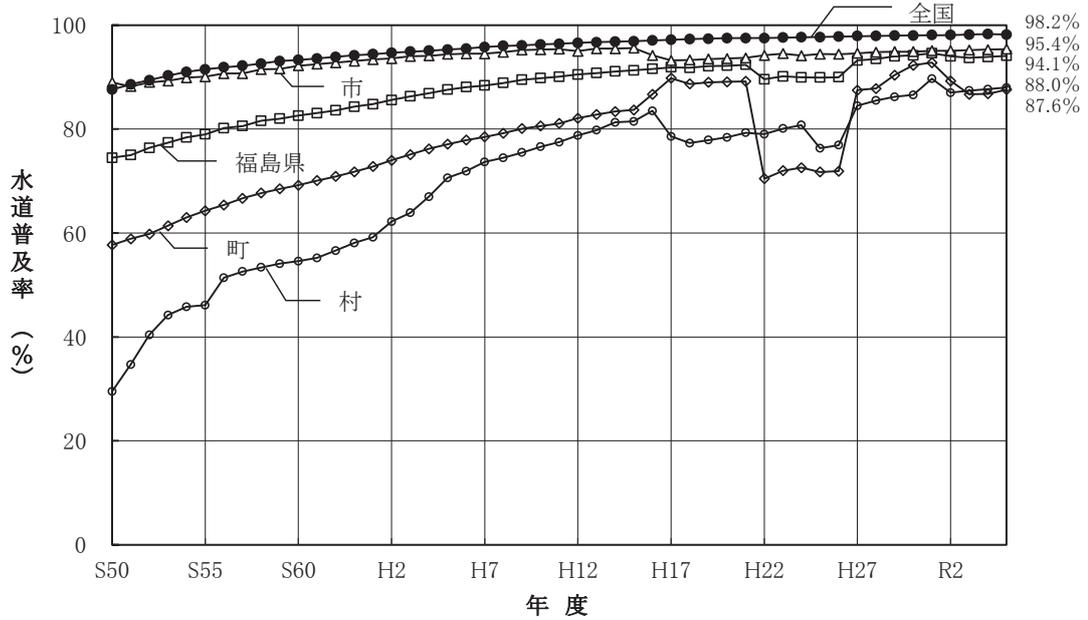
1. 大熊町、双葉町及び浪江町は行政区域内総人口を0人とした。(県統計課の公表データでは3町の人口を計上していないため。)

2. 広野町、檜葉町、富岡町、大熊町、双葉町は、給水区域に避難指示区域が含まれた、流動人口が多く正確な数値が算出できなかった等のため、現在給水人口を「0」として扱った。

	総人口 (人)	給水人口 (人)	普及率 (%)
市計(13)	1,451,784	1,384,676	95.4
町計(31)	229,515	200,976	87.6
村計(15)	68,901	60,640	88.0
総計(59)	1,750,200	1,646,292	94.1

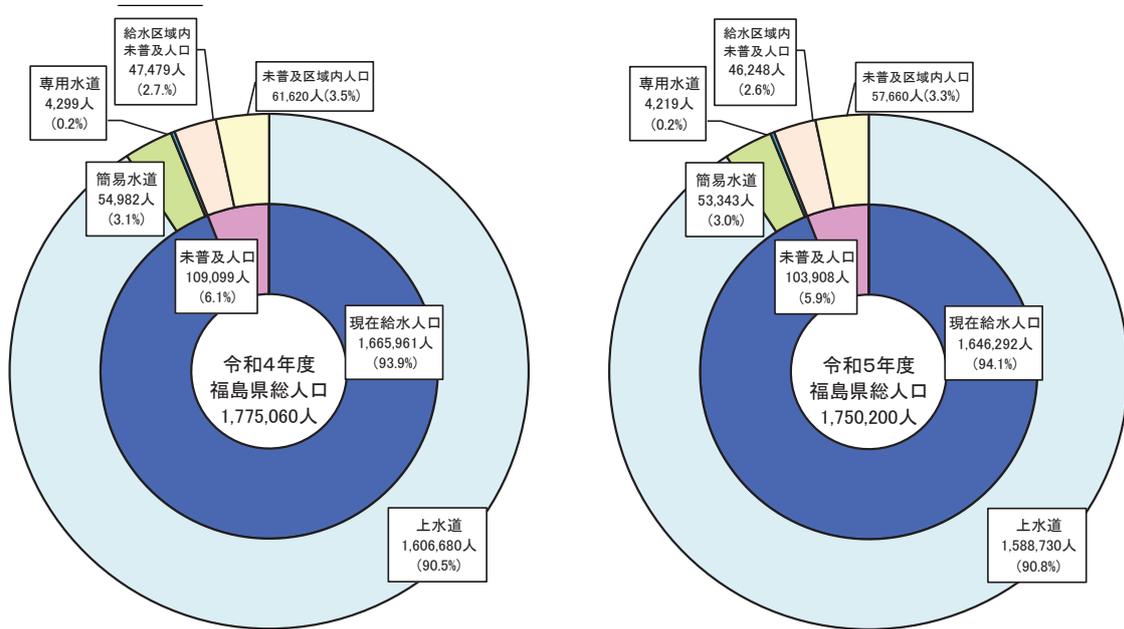
令和5年度末県内水道未普及人口	103,908人	5.9%
-----------------	----------	------

水道普及率の推移



年度	県普及率 (%)	年度	普及率 (%)				年度	普及率 (%)					
			福島県	市	町	村		全国	福島県	市	町	村	全国
		S55	79.0	90.1	64.3	46.1	91.5	H14	91.1	95.5	83.4	81.3	96.8
		S56	80.2	90.7	65.4	51.4	91.9	H15	91.3	95.6	83.7	81.5	96.9
S35	32.3	S57	80.6	90.7	66.7	52.6	92.2	H16	91.6	94.2	86.7	83.5	97.1
S36	36.9	S58	81.6	91.5	67.7	53.4	92.6	H17	91.9	93.2	89.8	78.6	97.2
S37	40.3	S59	82.0	91.6	68.5	54.1	93.1	H18	91.8	93.3	88.7	77.3	97.3
S38	43.5	S60	82.6	92.2	69.2	54.6	93.3	H19	92.1	93.5	89.0	77.9	97.4
S39	46.9	S61	83.1	92.5	70.1	55.2	93.6	H20	92.2	93.6	89.1	78.4	97.5
S40	49.0	S62	83.6	92.8	70.9	56.6	93.9	H21	92.4	93.7	89.2	79.3	97.5
S41	51.6	S63	84.3	93.1	71.8	58.1	94.2	H22	89.6	94.2	70.5	79.0	97.5
S42	54.3	H元	84.8	93.4	72.8	59.2	94.4	H23	90.2	94.5	72.0	80.1	97.6
S43	57.0	H2	85.6	93.6	74.0	62.2	94.7	H24	90.0	94.1	72.6	80.8	97.7
S44	59.3	H3	86.3	94.0	75.1	63.9	94.9	H25	89.9	94.4	71.8	76.3	97.7
S45	62.2	H4	86.9	94.1	76.2	67.0	95.1	H26	90.0	94.4	71.8	76.3	97.8
S46	65.6	H5	87.6	94.4	77.1	70.6	95.3	H27	93.2	94.6	87.5	84.5	97.9
S47	68.1	H6	88.1	94.5	77.9	71.9	95.5	H28	93.5	94.8	87.8	85.5	97.9
S48	71.5	H7	88.4	94.5	78.5	73.7	95.8	H29	94.0	94.9	90.4	86.2	98.0
S49	73.5	H8	88.9	94.8	79.2	74.5	96.0	H30	94.2	94.9	92.3	86.6	98.0
S50	74.5	H9	89.5	95.2	80.1	75.5	96.1	R元	94.6	95.1	92.8	89.7	98.1
S51	75.0	H10	89.8	95.3	80.6	76.6	96.3	R2	94.0	95.1	89.3	87.0	98.1
S52	76.4	H11	90.1	95.4	81.1	77.5	96.4	R3	93.7	95.2	86.7	87.4	98.2
S53	77.4	H12	90.5	95.4	82.1	78.8	96.6	R4	93.9	95.3	86.8	87.7	98.3
S54	78.4	H13	90.8	95.5	82.8	79.8	96.7	R5	94.1	95.4	87.6	88.0	98.2

水道種別ごとの普及状況



区分		事業数	計画給水人口 (人)	給水区域内 現在人口(人)	現在給水人口 (人)	普及率 (%)	全国普及率 (%)
令和4年度	上水道	37	1,816,323	1,649,326	1,606,680	90.5	96.6
	簡易水道	63(61)	85,021	59,815	54,982	3.1	1.3
	専用水道	161	22,862	4,299	4,299	0.2	0.3
	計	261(259)	1,924,206	1,713,440	1,665,961	93.9	98.3
令和5年度	上水道	37	1,816,323	1,630,222	1,588,730	90.8	96.7
	簡易水道	62(60)	84,119	58,099	53,343	3.0	1.3
	専用水道	161	22,986	4,219	4,219	0.2	0.3
	計	260(258)	1,923,428	1,692,540	1,646,292	94.1	98.2

※事業数欄の()内数字は、簡易水道廃止許可・届出済事業を除いた数で内数である。
 ※給水区域内現在人口及び現在給水人口は、簡易水道廃止許可・届出済事業分を含む。

令和5年度末給水人口と水道普及率

(R6.3.31現在)

都道府県名	総人口(人) (A)	給水人口(人)				普及率 (B)/(A) (%)	順位
		上水道	簡易水道	専用水道	合計(B)		
北海道	5,065,106	4,679,280	282,821	14,866	4,976,967	98.3	22
青森	1,169,179	1,118,710	25,288	3,021	1,147,019	98.1	24
岩手	1,159,518	1,071,025	21,341	5,795	1,098,161	94.7	40
宮城	2,230,658	2,210,482	2,486	727	2,213,695	99.2	16
秋田	904,359	767,799	59,664	2,849	830,312	91.8	46
山形	1,021,521	990,967	19,296	184	1,010,447	98.9	20
福島	1,750,200	1,588,730	53,343	4,219	1,646,292	94.1	42
茨城	2,812,901	2,648,331	25,283	5,494	2,679,108	95.2	37
栃木	1,909,128	1,816,141	3,627	18,970	1,838,738	96.3	32
群馬	1,910,853	1,836,729	65,458	1,750	1,903,937	99.6	10
埼玉	7,328,446	7,300,088	4,257	5,884	7,310,229	99.8	7
千葉	6,270,470	5,958,320	5,684	40,958	6,004,962	95.8	33
東京都	14,131,350	14,095,121	11,322	24,574	14,131,017	100.0	1
神奈川県	9,218,071	9,194,808	11,723	5,295	9,211,826	99.9	4
新潟	2,107,490	2,014,313	81,401	2,743	2,098,457	99.6	10
富山	999,806	913,390	21,940	3,222	938,552	93.9	43
石川	1,101,105	1,044,681	20,868	5,096	1,070,645	97.2	30
福井	748,999	682,254	40,096	934	723,284	96.6	31
山梨	802,457	707,114	79,817	4,973	791,904	98.7	21
長野	1,990,408	1,885,710	84,290	1,598	1,971,598	99.1	17
岐阜	1,917,872	1,765,337	50,811	4,032	1,820,180	94.9	39
静岡	3,533,214	3,441,169	45,741	14,427	3,501,337	99.1	17
愛知	7,467,331	7,440,221	8,401	11,756	7,460,378	99.9	4
三重	1,751,026	1,734,986	7,796	1,271	1,744,053	99.6	10
滋賀	1,406,413	1,379,658	18,136	5,171	1,402,965	99.8	7
京都	2,533,811	2,513,976	10,409	1,207	2,525,592	99.7	9
大阪	8,761,190	8,759,318	0	1,446	8,760,764	100.0	1
兵庫県	5,344,832	5,319,636	17,415	1,194	5,338,245	99.9	4
奈良	1,295,094	1,272,664	13,762	249	1,286,675	99.3	15
和歌山	899,336	845,807	36,070	1,182	883,059	98.2	23
鳥取	536,776	488,228	35,872	2,522	526,622	98.1	24
島根	643,316	610,041	15,789	414	626,244	97.3	29
岡山	1,835,093	1,776,918	43,806	2,744	1,823,468	99.4	13
広島	2,737,309	2,595,019	7,999	7,362	2,610,380	95.4	35
山口	1,286,039	1,197,695	10,140	4,144	1,211,979	94.2	41
徳島	689,157	636,179	22,605	12,497	671,281	97.4	28
香川	919,513	910,802	2,954	3	913,759	99.4	13
愛媛	1,304,514	1,184,431	20,417	20,503	1,225,351	93.9	43
高知	666,040	567,916	60,180	5,104	633,200	95.1	38
福岡	5,091,224	4,788,680	13,694	53,297	4,855,671	95.4	35
佐賀	796,921	753,487	8,389	1,077	762,953	95.7	34
長崎	1,254,499	1,208,998	22,031	12,212	1,243,241	99.1	17
熊本	1,702,325	1,436,330	73,137	16,589	1,526,056	89.6	47
大分	1,087,257	979,664	14,666	8,226	1,002,556	92.2	45
宮崎	1,039,769	985,190	31,294	1,835	1,018,319	97.9	26
鹿児島	1,563,569	1,470,273	43,810	14,616	1,528,699	97.8	27
沖縄	1,462,046	1,439,438	22,149	18	1,461,605	100.0	1
合計	124,157,511	120,026,054	1,577,478	358,250	121,961,782	98.2	
令和4年度	124,704,624	120,508,470	1,623,337	396,991	122,528,798	98.3	

2 水道事業数

令和6年3月31日現在、水道法上の水道施設は県内に263箇所あり、その種別内訳は、水道用水供給事業3箇所、上水道事業37箇所、簡易水道事業62箇所、専用水道箇所161箇所となっている。

水道事業数は、前年度と比較して、簡易水道1箇所の減、総数で1箇所の減となっている。

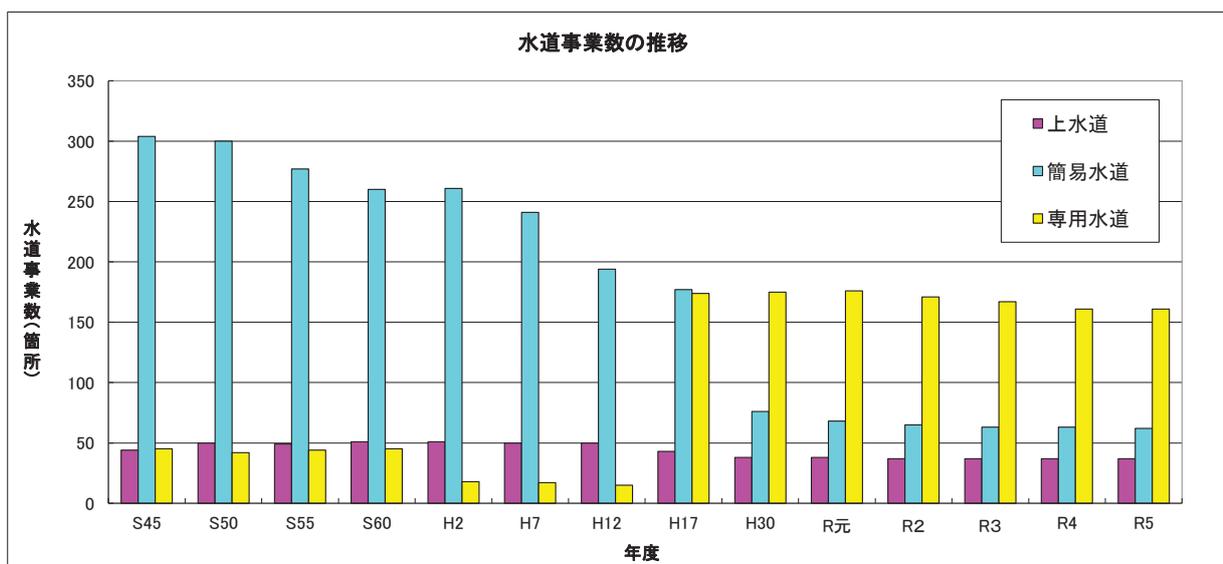
簡易水道事業数はここ数十年減少を続けているが、近年は事業統合が一段落したこともあり減少幅は小さくなっている。

水道事業数の推移

種別	区分 事業主体	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H30	R元	R2	R3	R4	R5	
		年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度
水道用水供給事業	県	-	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	一部事務組合	-	1	1	2	4	5	5	4	3	3	3	3	3	3	
	計	0	2	2	3	5	5	5	4	3	3	3	3	3	3	
上水道事業	市	15	16	11	11	11	9	9	17	13	13	12	12	12	12	
	町	27	30	34	34	33	32	30	18	18	18	18	18	18	18	
	村	2	4	4	6	7	8	9	6	5	5	5	5	5	5	
	一部事務組合	-	-	-	-	-	1	2	2	2	2	2	2	2	2	
	計	44	50	49	51	51	50	50	43	38	38	37	37	37	37	
簡易水道事業	公 営	市	54	51	38	35	30	23	18(1)	41(1)	16	16	14	14	14	14
		町	93	106	112	119	121	116	98(5)	89(3)	35(6)	28	28	27	27	26
		村	44	50	49	43	49	46	40	24	12	12	12	11	11	11
		小計	191	207	199	197	200	185	156(6)	154(4)	63(6)	56	54	52	52	51
	民 営	(市部)	35	34	32	27	27	24	21(16)	11(4)	9(3)	9(3)	8(2)	8(2)	8(2)	8(2)
		(町部)	71	56	44	35	33	31	17(8)	12(6)	4	3	3	3	3	3
		(村部)	7	3	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
		小計	113	93	78	63	61	56	38(24)	23(10)	13(3)	12(3)	11(2)	11(2)	11(2)	11(2)
計	304	300	277	260	261	241	194(30)	177(14)	76(9)	68(3)	65(2)	63	63	62		
専 用 水 道	45	42	44	45	18	17	15	174	175	176	171	167	161	161		
合 計	393	394	372	359	335	313	264(30)	398(14)	292(9)	285(3)	276(2)	270(2)	264(2)	263(2)		

※()内数値は、廃止許可・届出済箇所数で内数(平成12年度以降)

※平成13年度に水道法の改正が行われ、専用水道の適用範囲が拡大されたことに伴い、専用水道施設数は平成12年度以前と平成13年度以降とで大差が生じている。



※グラフ中、簡易水道の数は廃止許可・届出済施設数を含んだものとした。

3 職員数

水道に従事する職員数は、令和5年度末で1,246人であり、令和4年度末の1,236人と比べて10人(0.8%)増加している。これは上水道の会計年度任用職員が4人増加、専用水道の職員が27人増加しており、上水道・水道用水供給事業で7人減少、簡易水道で13人減少していることによる。

事業ごとにみると、上水道事業は683人(54.8%)、水道用水供給事業には32人(2.6%)、簡易水道事業には155人(12.4%)、専用水道には376人(30.2%)が従事している。

上水道の技術職員は微減傾向が続いているほか、市及び一部事務組合に偏在しており、上水道の技術職員329人のうち町村の技術職員は14人(4.3%)のみである。

また町村の上水道の6割以上で技術職員を配置できていない状況にあり、技術力の維持がますます困難なものとなっている。このことから、小規模水道事業体においては技術力の維持・向上のための施策が急務となっている。

職員数の推移

(単位:人)

区分		年度	S55 年度	S60 年度	H2 年度	H7 年度	H12 年度	H17 年度	H30 年度	R元 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
上 水 道	事務職員		409	421	453	492	479 (26)	421 (17)	282 (14)	284 (14)	275 (13)	279 (13)	280 (13)	276 (13)
	技術職員		669	627	485	541	497 (34)	494 (33)	376 (17)	366 (17)	355 (18)	355 (20)	351 (18)	348 (19)
	検針員		41	22	17	9	10	11	0	0	0	0	0	0
	集金員		9	3	4	11	10	6	0	0	0	0	0	0
	技能職員その他		35	34	153	83	69	40	10	10 (1)	12 (1)	11	12	12
	小計		1,163	1,107	1,112	1,136	1,065 (60)	972 (50)	668 (31)	660 (32)	642 (32)	645 (33)	643 (31)	636 (32)
	会計年度任用職員*1		-	-	-	-	-	-	-	-	8 (3)	64 (2)	73 (3)	77
	臨時職員		17	11	15	19	14 (2)	14 (3)	41 (3)	39 (3)	-	0	0	0
	嘱託職員		-	13	19	27	18 (5)	33	21	21	2	2	3	2
	合計		1,180	1,131	1,146	1,182	1,097 (67)	1,019 (53)	730 (34)	720 (35)	652 (35)	711 (35)	719 (34)	715 (32)
簡易水道*2		169	158	116	169	158	135	184	135	145	153	168	155	
専用水道		106	67	48	36	22	425	332	332	325	335	349	376	
合計		1,455	1,356	1,310	1,387	1,277 (67)	1,579 (53)	1,246 (34)	1,187 (35)	1,122 (35)	1,199 (35)	1,236 (34)	1,246 (32)	

*1 令和2年度は、会計年度任用職員及び臨時職員の合計数

*2 1自治体で複数の簡易水道を運営している場合は延べ人数

※()内は水道用水供給事業に従事する職員数で内数

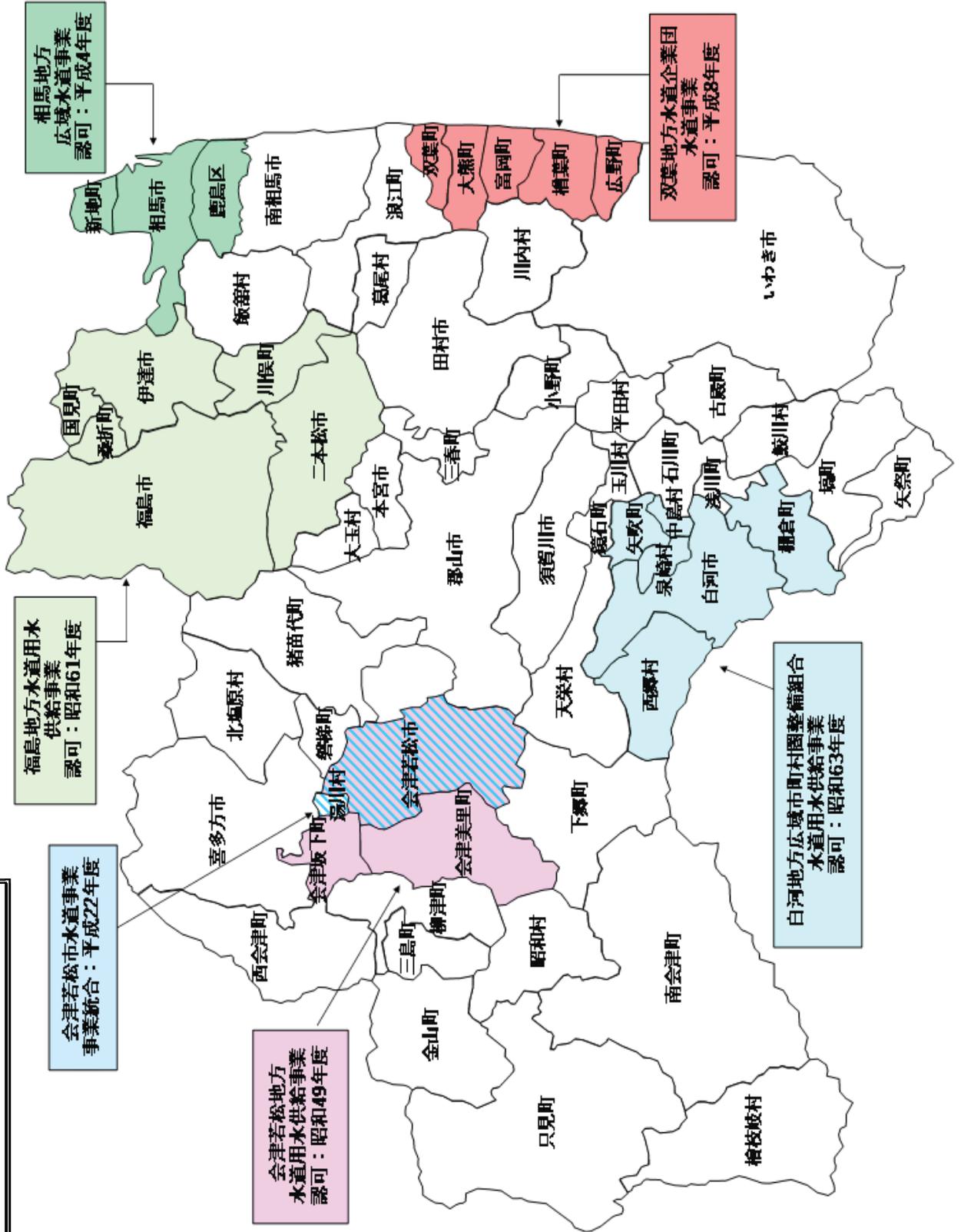
第2章 水道の種類別概要

1 広域水道事業

水道用水供給事業は3事業、水道事業は3事業である。

事業(区分)	水道用水供給事業			水道事業		
事業名 区分	会津若松地方 水道用水供給事業	福島地方 水道用水供給事業	白河地方 広域市町村圏 水道用水供給事業	双葉地方 水道事業	相馬地方 広域水道事業	会津若松市 水道事業
事業主体	会津若松地方 広域市町村圏 整備組合	福島地方 水道用水供給 企業団	白河地方 広域市町村圏 整備組合	双葉地方 水道企業団	相馬地方 広域水道企業団	会津若松市
給水対象市町村数	1市2町	3市3町	1市2町3村	5町	2市1町	1市1村
創設認可時事業体の 設立年月日	昭和49年11月28日	昭和60年10月5日	昭和62年11月20日	平成3年3月18日	平成4年8月17日	大正14年9月25日
(創設認可時事業体)	会津若松地方 水道用水供給 企業団	現在と同じ	白河地方 水道用水供給 企業団	現在と同じ	現在と同じ	現在と同じ
施工年度	昭和50～平成元	昭和61～平成17	平成元～平成12	平成30～平成38	平成4～平成14	平成26～平成29
目標年度	平成2年度	平成19年度	平成27年度	令和8年度	平成22年度	平成30年度
計画1日最大取水量 (m ³ /日)	27,500	161,300	22,900	20,381	42,900	101,062
計画1日最大給水量 (m ³ /日)	25,600	149,920	21,310	20,250	41,200	71,500
水源 (水道事業は主な水源)	阿賀野川水系 阿賀川 大川ダム(放流)	阿武隈川水系 摺上川 摺上川ダム(直接)	阿武隈川水系 堀川 堀川ダム(直接)	木戸川水系 木戸川 木戸ダム(放流)	真野川水系 真野川 真野ダム(直接)	阿賀野川水系 猪苗代湖
ダム負担率 (%)	1.1	31.8	29.6	4.4	15.4	—
ダム負担金 (千円)	928,209	62,169,000	8,761,600	1,777,600	4,388,936	—
認可年月日	昭和50年3月31日	昭和61年6月6日	昭和63年4月15日	(水道用水供給事業) 平成3年10月29日	平成5年1月6日	大正14年9月29日
(変更認可年月日)	昭和58年3月31日	平成5年3月31日	平成13年12月26日	(水道事業) 平成30年10月25日	—	平成26年3月28日
給水開始年月 (暫定給水開始年月)	平成2年4月 —	平成19年4月 平成15年4月	平成13年4月 —	平成12年4月 —	平成7年4月 —	昭和4年4月 —
給水対象市町村名 (右側の数値は各市町村 の計画1日最大給水量 (m ³ /日))	会津若松市 10,900 会津坂下町 9,300 会津美里町 5,400	福島市 110,900 二本松市 3,170 伊達市 27,320 川俣町 790 桑折町 3,490 国見町 4,250	白河市 6,800 矢吹町 4,800 泉崎村 3,510 西郷村 1,600 中島村 1,600 棚倉町 3,000	広野町 5,500 楡葉町 4,190 富岡町 5,520 大熊町 3,420 双葉町 1,620	相馬市 27,560 南相馬市 7,160 新地町 6,480	会津若松市 — 湯川村 —

令和5年度福島県の広域水道事業



2 上水道事業

35市町村2企業団で37事業が行われており、その概要は次のとおりである。

(1) 事業計画

事業箇所数	計画給水人口 (人)	給水区域内現在人口 (人)	現在給水人口(人) a	計画給水区域面積 (km ²)	現在給水面積 (km ²)	計画1日最大給水量 (m ³)
37	1,816,327	1,630,222	1,588,730	3,636.43	3,405.23	871,747

(2) 取水状況

実績年間取水量 (千m ³)								
河川水	ダム水 (放流水含む)	湖水	伏流水	浅井戸水	深井戸水	湧水	浄水受水	計 b
52,708	28,751	40,037	1,127	25,255	9,250	9,153	50,711	216,992

(3) 給水状況・職員

実績年間給水量 (千m ³)								
有収水量					有収水量計 c	無収水量 d	無効水量 e	計 f=c+d+e
生活用	業務営業用	工場用	分水	その他				
146,217	18,820	7,668	497	736	173,938	7,033	22,976	203,947

現在施設能力 (m ³ /日) g	実績1日最大給水量 (m ³) h	実績1日平均給水量 (m ³) i	1人1日当たりの給水量 (L) *1				
			計画最大給水量	実績最大給水量	平均給水量	有効水量	有収水量
984,703	626,297	557,276	479	393	350	310	298

*1 1人1日当たりの給水量に分水量は含まれない。

1人当たりの施設能力 (L/日) g/a	比率 %					職員数 (人)
	稼働率 h/g	負荷率 i/h	有効率 (c+d)/f	有収率 c/f	利用量率 f/b	
619.8	63.6	89.0	88.7	85.3	94.0	683

(4) 料金等

料金体系 (箇所)				家庭用平均料金 (円/10m ³)	料金収入 (千円/年)	建設事業費 (千円/年)	供給単価 (円/m ³)	給水原価 (円/m ³)
用途別	口径別	併用	単一					
9	24	3	1	1,952	37,515,924	22,882,460	215.69	215.33

3 簡易水道事業

29市町村で事業が行われており、その概要は次のとおりである。

(1) 事業計画

事業箇所数*2			計画給水人口*3 (人)	給水区域内現在人口 (人)	現在給水人口 (人)	現在給水面積 (km ²)	計画1日最大給水量*3 (m ³)
	公営*2	民営*2					
62(2)	51	11(2)	82,939	58,099	53,343	608	47,515

*2 事業箇所数のうち、括弧書きは廃止許可・届出済箇所数の再掲である。

*3 計画値については、廃止許可・届出済簡易水道のものを含まない。

(2) 取水状況

実績年間取水量 (千m ³)								
河川水	ダム水 (放流水含む)	湖水	伏流水	浅井戸水	深井戸水	浄水受水 (原水受水含む)	湧水等*4	計
1,662	0	0	67	1,960	1,843	992	3,728	10,252

*4 「湧水」及び「その他」の合計である。

(3) 給水状況

現在施設能力 (m ³ /日)	年間給水量 (m ³) a	有収水量 (m ³) b	有効水量 (m ³) c	無効水量 (m ³)	1人当たりの施設能力 (L/日)
73,011	8,166,521	6,078,119	6,718,924	1,447,503	1,369

1人1日当たりの給水量 (L)					有収率 (%) b/a	有効率 (%) c/a
計画最大給水量*5	実績最大給水量	平均給水量	有効水量	有収水量		
573	569	418	344	311	74.4	82.3

*5 計画値については、廃止許可・届出済簡易水道のものを含まない。

(4) 職員

職員数 (人)	技術管理者の設置状況			
	専兼任の別 (箇所)			
	専任	兼任	無	不要
155	7	55	0	0

(5) 料金

家庭用平均料金(円/10m ³)	
公営	民営
1,858	1,506

4 専用水道

32市町村で施設が設置されており、その概要は次のとおりである。

箇所数 ^{*6}	確認時給水人口 (人)		現在給水人口 (人)		原水の種別 (箇所)		
	自己水源のみによるもの	左記以外のもの	自己水源のみによるもの	左記以外のもの	自己水源のみ	受水のみ	併用
161	22,986	14,780	4,219	1,910	122	5	34

浄水施設の種別 (箇所)				施設能力 (m ³ /日)	施設の専用兼用の別 ^{*7} (箇所)	
緩速ろ過	急速ろ過	消毒のみ	その他		専用	兼用
6	17	87	51	37,729	118	43

*6 浄水受水のみを含む

*7 施設の専用兼用の別

専用:当該水道施設が飲用(生活用水)のみの専用施設である。

兼用:当該水道施設が飲用だけでなく、工業用水等にも供給する。

職員数(人)	水道技術管理者 (箇所)		
	有	無	資格不要 ^{*8}
376	161	0	0

*8 水道法第34条第2項により、水道技術管理者としての特別の資格を必要としないもの

5 飲料水供給施設

14市町村で30施設あり、その概要は次のとおりである。

施設箇所数			計画給水人口 (人)	給水区域内人口 ^{*9} (人)	現在給水人口 (人)
	公営	民営			
30	4	26	2,661	1,681	1,936

浄水施設の種別 (箇所)				原水の種別 (箇所)				
緩速ろ過	急速ろ過	消毒のみ	その他	表流水	伏流水	浅井戸	深井戸	湧水
2	1	24	3	5	3	4	0	18

*9 給水区域内人口は、一部地区で不明としているため、現在給水人口より少ない。

第3章 施設能力及び給水状況

1 施設能力及び浄水量

(1)施設能力の推移

(単位: m³/日)

区分	年度	S59 (1984)	H6 (1994)	H16 (2004)	R元 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)
上水道		801,815	929,356	1,061,339	985,265	976,493	985,803	985,303	984,703
簡易水道		38,485	77,743	91,197	49,539	50,408	48,411	50,796	73,011
専用水道		6,872	14,588	*143,314	39,467	38,874	38,568	37,729	37,729
用水供給		—	—	46,430	209,800	209,800	209,800	209,800	209,800
計*2		847,172	1,021,687	1,195,850	1,074,271	1,065,775	1,072,782	1,073,828	1,095,443
現在給水人口1人当たり施設能力*2 (L/日)		453	532	682	619	623	637	645	665

*1 水道法の改正(平成13年法律第100号)により専用水道の適用範囲が拡大されたことに伴う増

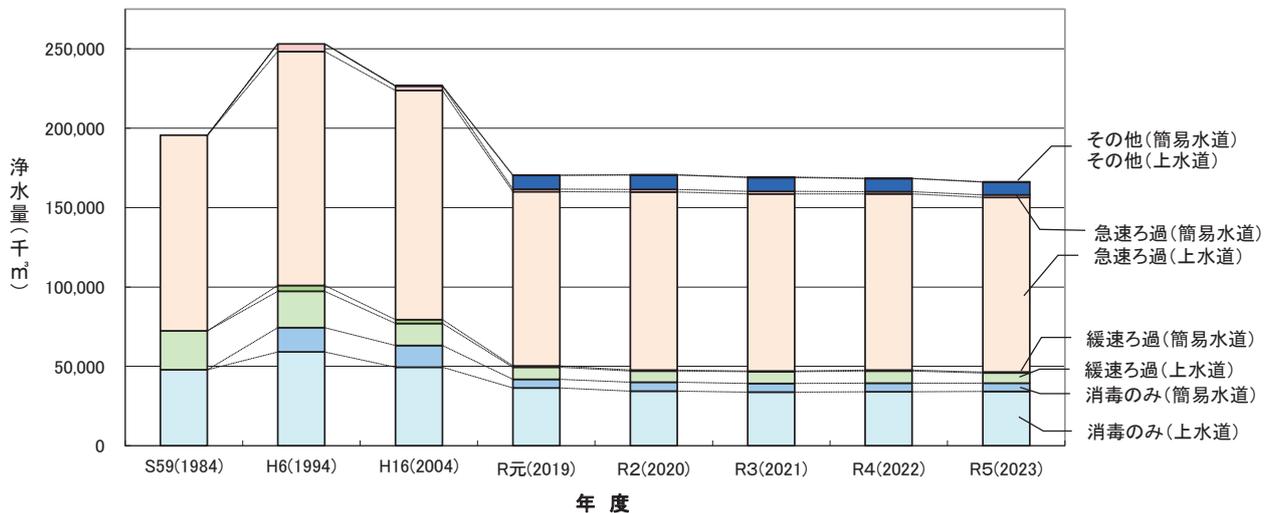
*2 用水供給を除く

(2)年間浄水量

区分	年度	S59 (1984)	H6 (1994)	H16 (2004)	R元 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	
消毒のみ	上水道	浄水量(千m ³)	47,865	59,050	49,453	36,502	34,475	33,766	33,919	34,115
		割合(%)	24.5	25.8	23.8	22.4	21.2	20.9	21.1	21.5
	簡易水道	浄水量(千m ³)	—	15,316	13,751	5,367	5,473	5,481	5,466	5,338
		割合(%)	—	64.3	71.4	69.3	69.5	69.3	69.5	69.4
緩速ろ過	上水道	浄水量(千m ³)	24,558	22,900	13,848	7,656	7,031	7,325	7,608	6,376
		割合(%)	12.6	10.0	6.7	4.7	4.3	4.5	4.7	4.0
	簡易水道	浄水量(千m ³)	—	3,689	2,457	662	613	576	585	574
		割合(%)	—	15.5	12.8	8.5	7.8	7.3	7.4	7.5
急速ろ過	上水道	浄水量(千m ³)	123,194	147,348	144,270	109,893	112,239	111,485	110,928	110,028
		割合(%)	63.0	64.3	69.5	67.5	69.0	69.1	69.0	69.4
	簡易水道	浄水量(千m ³)	—	4,815	2,823	1,454	1,524	1,588	1,575	1,544
		割合(%)	—	20.2	14.7	18.8	19.3	20.1	20.0	20.1
その他	上水道	浄水量(千m ³)	—	—	0	8,737	9,028	8,689	8,227	8,070
		割合(%)	—	—	0.0	5.4	5.5	5.4	5.1	5.1
	簡易水道	浄水量(千m ³)	—	—	215	263	270	263	241	237
		割合(%)	—	—	1.1	3.4	3.4	3.3	3.1	3.1
合計	上水道	浄水量(千m ³)	195,617	229,298	207,571	162,788	162,773	161,265	160,682	158,589
	簡易水道	浄水量(千m ³)	—	23,820	19,246	7,746	7,880	7,908	7,867	7,693
	合計	浄水量(千m ³)	195,617	253,118	226,817	170,534	170,653	169,173	168,549	166,282

※ 昭和59年度簡易水道データは不明

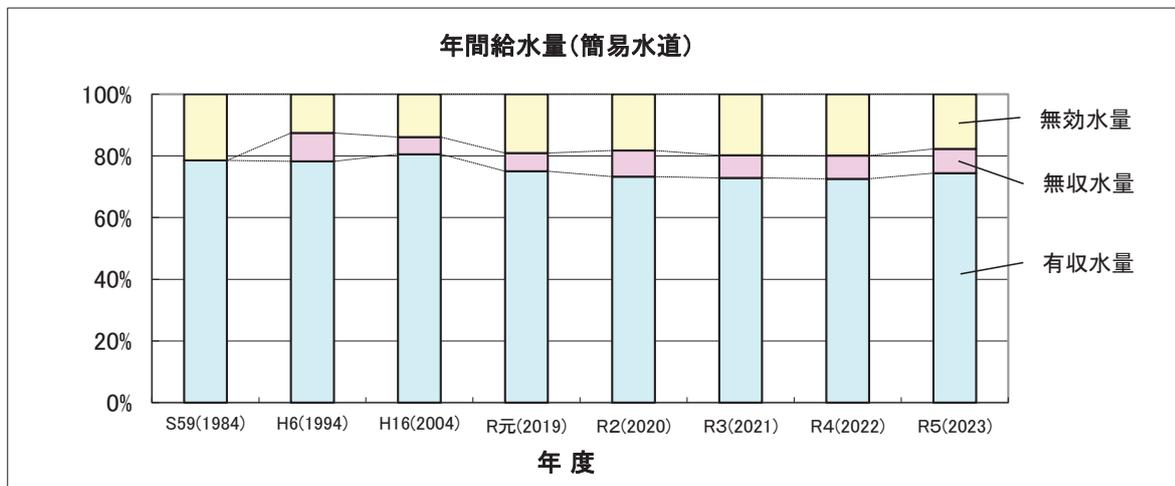
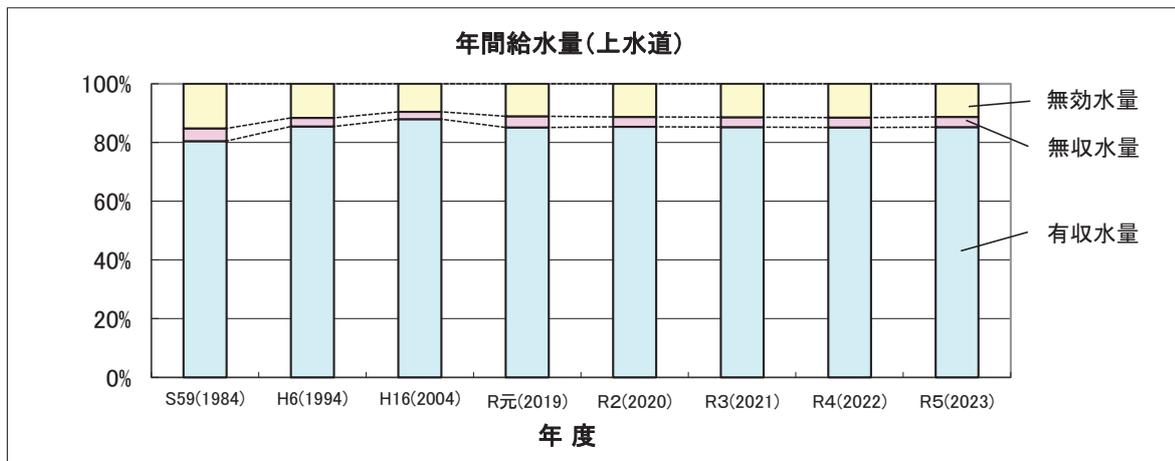
年間浄水量



2 年間給水量及び有効率・有収率

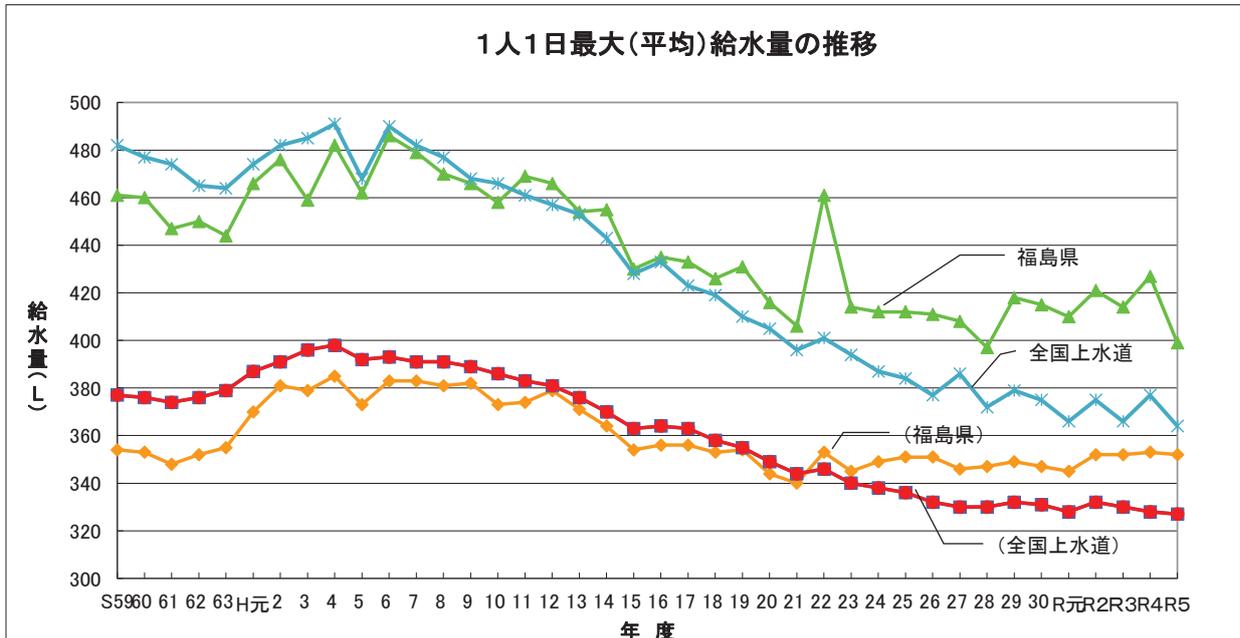
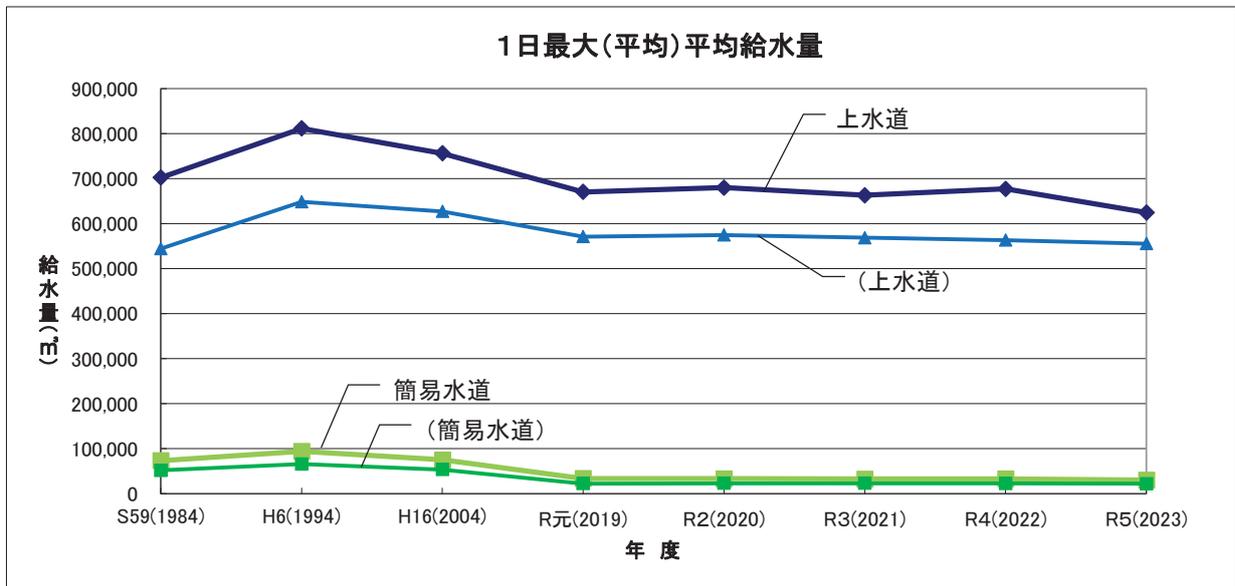
区分		年度	S59 (1984)	H6 (1994)	H16 (2004)	R元 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	
年間給水量 (千 m^3)	上水道		197,849	235,684	228,095	209,167	209,869	207,745	205,937	203,450	
	簡易水道		18,922	24,092	19,565	8,281	8,414	8,455	8,403	8,167	
	合計		216,771	259,776	247,660	217,448	218,283	216,200	214,340	211,617	
有効水量 (千 m^3)	上水道		167,760	208,306	206,290	185,982	186,202	184,140	182,176	180,474	
	簡易水道		14,852	21,062	16,836	6,700	6,875	6,777	6,734	6,719	
	合計		182,612	229,368	223,126	192,682	193,077	190,917	188,910	187,193	
	有収水量	上水道		159,258	201,451	200,555	177,940	179,103	177,127	175,277	173,441
		簡易水道		14,852	18,859	15,761	6,212	6,166	6,158	6,098	6,078
		合計		174,110	220,310	216,316	184,152	185,269	183,285	181,375	179,519
無収水量	上水道		8,502	6,855	5,735	8,042	7,099	7,013	6,899	7,033	
	簡易水道		(資料なし)	2,203	1,075	488	709	619	636	641	
	合計		8,502	9,058	6,810	8,530	7,808	7,632	7,535	7,674	
無効水量 (千 m^3)	上水道		30,089	27,378	21,805	23,185	23,667	23,605	23,761	22,976	
	簡易水道		4,070	3,030	2,729	1,581	1,539	1,679	1,669	1,448	
	合計		34,159	30,408	24,534	24,766	25,206	25,284	25,430	24,424	
有効率 (%)	上水道		84.8	88.4	90.4	88.9	88.7	88.6	88.5	88.7	
	簡易水道		78.5	87.4	86.1	80.9	81.7	80.2	80.1	82.3	
	合計		84.2	88.3	90.1	88.6	88.5	88.3	88.1	88.5	
有収率 (%)	上水道		80.5	85.5	87.9	85.1	85.4	85.3	85.2	85.3	
	簡易水道		78.5	78.3	80.6	75.0	73.3	72.8	72.6	74.4	
	合計		80.3	84.8	87.3	84.7	84.9	84.8	84.6	84.8	

※分水量は含まない。



3 1日当たりの給水量

区分		年度	S59 (1984)	H6 (1994)	H16 (2004)	R元 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)
給水人口 (人)	上水道		1,488,007	1,655,944	1,747,612	1,661,973	1,638,816	1,622,563	1,606,680	1,588,730
	簡易水道		195,432	211,667	165,012	59,494	58,477	56,805	54,982	53,343
	合計		1,683,439	1,867,611	1,912,624	1,721,467	1,697,293	1,679,368	1,661,662	1,642,073
1日最大給水量 (m ³)	上水道		702,424	811,575	756,390	670,454	680,318	663,209	677,269	624,857
	簡易水道		73,570	94,272	75,437	33,773	33,554	32,848	33,008	30,357
	合計		775,994	905,847	831,827	704,227	713,872	696,057	710,277	655,214
1日平均給水量 (m ³)	上水道		544,458	648,689	627,258	571,535	574,716	568,725	563,719	555,918
	簡易水道		51,840	66,003	53,604	22,626	23,051	23,165	23,023	22,312
	合計		596,298	714,692	680,862	594,161	597,767	591,890	586,742	578,230
1人1日最大給水量 (L)	上水道		472	487	433	403	415	409	422	393
	簡易水道		376	452	484	568	574	578	600	569
	合計		461	486	435	409	421	414	427	399
1人1日平均給水量 (L)	上水道		366	390	359	344	351	351	351	350
	簡易水道		265	316	321	380	394	408	419	418
	合計		354	390	356	345	352	352	353	352
負荷率 (%)	上水道		77.5	79.9	82.9	85.2	84.5	85.8	83.2	89.0
	簡易水道		70.5	70.0	71.1	67.0	68.7	70.5	69.7	73.5
	合計		76.8	78.9	81.9	84.4	83.7	85.0	82.6	88.3



4 上水道事業の月別・用途別給水量

(1) 月別給水量

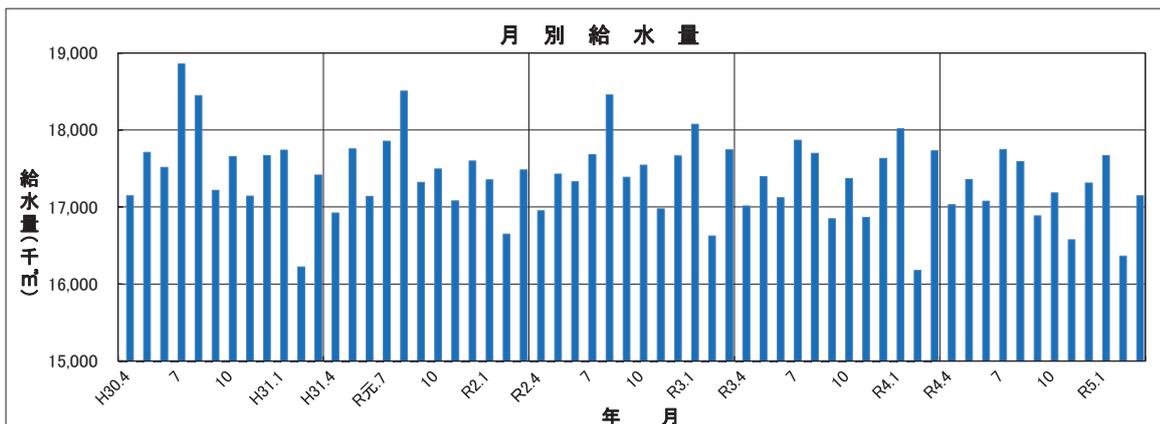
近年の月別給水量の推移を見ると、夏期(7～8月)及び冬期(12～1月)に増加し、春期及び秋期に減少する傾向にある。

2月は日数が少ないため月別では給水量が少なくなるが、1日当たり給水量は他の月に比べると多い傾向にある。季節によって給水量の増減はあるが、ここ数年のトレンドでみると給水量が減少してきていることがわかる。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和4年度	17,032	17,360	17,075	17,746	17,589	16,884	17,183	16,574	17,314	17,669	16,366	17,145	205,937
(%)	8.3	8.4	8.3	8.6	8.5	8.2	8.3	8.0	8.4	8.6	7.9	8.3	100.0
令和5年度	16,523	17,006	16,597	17,593	17,835	16,895	17,180	16,529	17,283	17,182	16,191	16,831	203,645
(%)	8.1	8.4	8.1	8.6	8.8	8.3	8.4	8.1	8.5	8.4	8.0	8.3	100.0

単位:千m³

※分水量は含まない。



(2) 用途別有収水量

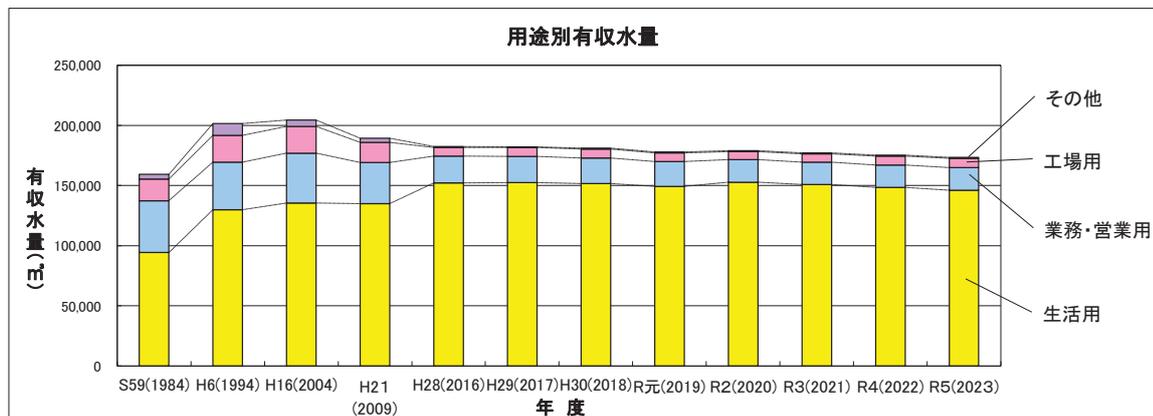
令和5年度の有収水量は、前年度と比較して約1,836千m³(1.0%)減少しており、減少傾向が続いている。減少幅は生活用水量が最も大きい。生活用水量は、ここ数年は減少傾向が見られる。

業務・営業用水量、工場用水量を前年度と比較すると、前者は229千m³(1.23%)増加し、後者は112千m³(1.5%)増している。工場用水量は平成28年度以降、業務・営業用水量は令和2年度から増減しながらもほぼ横ばいである。

業務・営業用水量、工場用水量共に、生活用水量とは異なり、東日本大震災の影響で落ち込んで以降、それ以前の水準には達していない。そのため、生活用水量の全体に占める割合は、東日本大震災以降高い状態が続いている。

単位:千m³

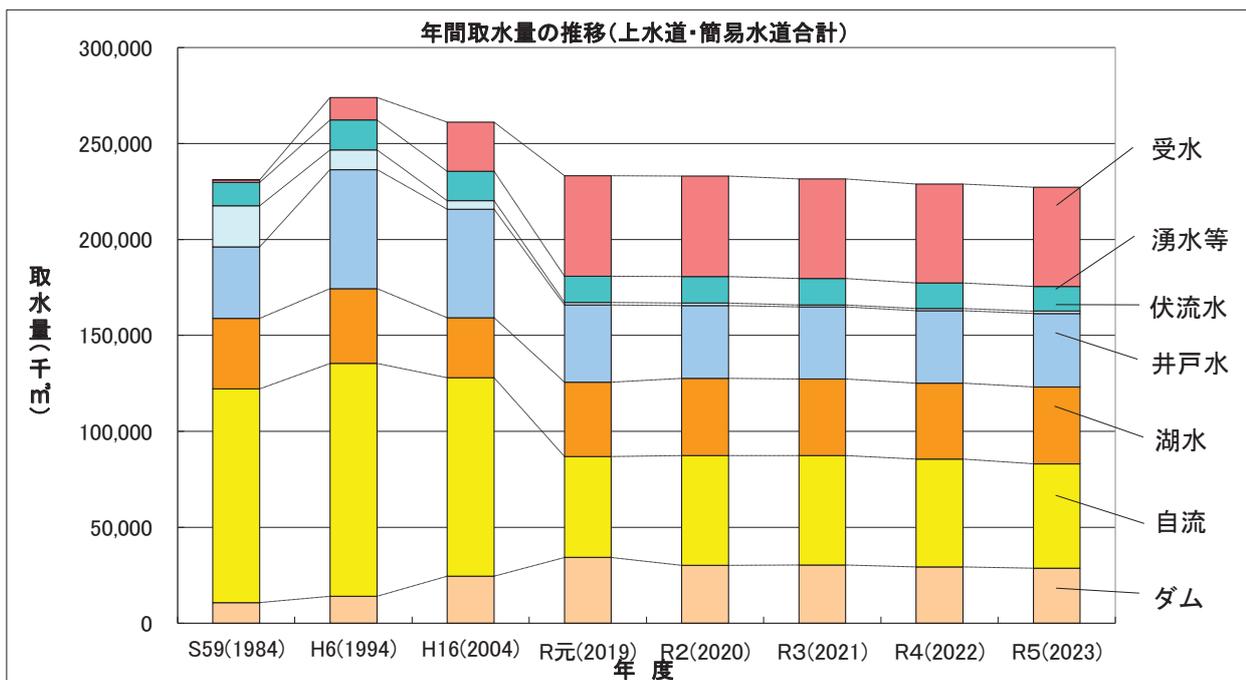
	S59 (1984)	H6 (1994)	H16 (2004)	H21 (2009)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R元 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)
生活用	94,266	129,969	135,448	134,998	152,148	152,435	151,797	149,385	152,832	150,801	148,372	146,217
割合(%)	59.2	64.5	66.3	71.3	83.3	83.6	83.8	84.0	85.3	85.1	84.7	84.3
業務・営業用	43,210	39,462	41,524	34,288	22,404	21,753	21,115	20,525	18,725	18,523	18,591	18,820
割合(%)	27.1	19.6	20.3	18.1	12.3	11.9	11.7	11.5	10.5	10.5	10.6	10.9
工場用	17,884	22,241	22,198	16,548	7,109	7,343	7,368	7,217	6,749	7,004	7,556	7,668
割合(%)	11.2	11.0	10.9	8.7	3.9	4.0	4.1	4.1	3.8	4.0	4.3	4.4
その他	3,898	9,779	5,266	3,601	899	709	911	813	797	799	758	736
割合(%)	2.4	4.9	2.6	1.9	0.5	0.4	0.5	0.5	0.4	0.5	0.4	0.4
合計	159,258	201,451	204,436	189,435	182,560	182,240	181,191	177,940	179,103	177,127	175,277	173,441



5 水源別年間取水量

単位:千m³

		地表水							地下水					湧水等	受水	総計
		表流水				湖水	地表水計	井戸水		伏流水	地下水計					
		ダム直接	ダム放流	ダム計	自流			表流水計	浅井戸			深井戸	井戸水計			
S59 (1984)	上水道	10,736	34	10,770	106,486	117,256	36,767	154,023	14,095	17,028	31,123	18,789	49,912	6,950	1,249	212,134
	(%)	5.1	0.0	5.1	50.2	55.3	17.3	72.6	6.6	8.0	14.7	8.9	23.5	3.3	0.6	100
	簡易水道							4,851			6,138	2,737	8,875	5,196		18,922
	(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.6	0.0	0.0	32.4	14.5	46.9	27.5	0.0	100
H6 (1994)	上水道	10,736	34	10,770	106,486	117,256	36,767	158,874	14,095	17,028	37,261	21,526	58,787	12,146	1,249	231,056
	(%)	4.6	0.0	4.7	46.1	50.7	15.9	68.8	6.1	7.4	16.1	9.3	25.4	5.3	0.5	100
	簡易水道	263	0	263	7,452	7,715	0	7,715	4,774	4,782	9,556	2,654	12,210	5,463	877	26,265
	(%)	1.0	0.0	1.0	28.4	29.4	0.0	29.4	18.2	18.2	36.4	10.1	46.5	20.8	3.3	100
H16 (2004)	上水道	21,005	3,408	24,413	98,522	122,935	31,292	154,227	33,877	13,570	47,447	2,958	50,405	10,302	23,639	238,573
	(%)	8.8	1.4	10.2	41.3	51.5	13.1	64.6	14.2	5.7	19.9	1.2	21.1	4.3	9.9	100
	簡易水道	35	0	35	4,987	5,022	0	5,022	4,939	4,059	8,998	1,667	10,665	5,003	1,900	22,590
	(%)	0.2	0.0	0.2	22.1	22.2	0.0	22.2	21.9	18.0	39.8	7.4	47.2	22.1	8.4	100
R元 (2019)	上水道	25,633	8,629	34,262	50,885	85,147	38,826	123,973	26,492	10,363	36,855	1,238	38,093	9,970	51,472	223,508
	(%)	11.5	3.9	15.3	22.8	38.1	17.4	55.5	11.9	4.6	16.5	0.6	17.0	4.5	23.0	100
	簡易水道	0	0	0	1,714	1,714	0	1,714	1,863	1,405	3,268	87	3,355	3,706	921	9,696
	(%)	0.0	0.0	0.0	17.7	17.7	0.0	17.7	19.2	14.5	33.7	0.9	34.6	38.2	9.5	100
R2 (2020)	上水道	26,016	4,082	30,098	55,710	85,808	40,132	125,940	24,123	10,303	34,426	1,191	35,617	10,055	51,350	222,962
	(%)	11.7	1.8	13.5	25.0	38.5	18.0	56.5	10.8	4.6	15.4	0.5	16.0	4.5	23.0	100
	簡易水道	0	0	0	1,629	1,629	0	1,629	1,866	1,705	3,571	39	3,610	3,895	937	10,071
	(%)	0.0	0.0	0.0	16.2	16.2	0.0	16.2	18.5	16.9	35.5	0.4	35.8	38.7	9.3	100
R3 (2021)	上水道	26,195	4,185	30,380	55,352	85,732	39,863	125,595	23,918	9,832	33,750	1,033	34,783	9,811	51,013	221,202
	(%)	11.8	1.9	13.7	25.0	38.8	18.0	56.8	10.8	4.4	15.3	0.5	15.7	4.4	23.1	100
	簡易水道	0	0	0	1,653	1,653	0	1,653	2,102	1,701	3,803	39	3,842	3,955	965	10,415
	(%)	0.0	0.0	0.0	15.9	15.9	0.0	15.9	20.2	16.3	36.5	0.4	36.9	38.0	9.3	100
R4 (2022)	上水道	25,863	3,448	29,311	54,551	83,862	39,633	123,495	24,243	9,721	33,964	1,138	35,102	9,520	50,554	218,671
	(%)	11.8	1.6	13.4	24.9	38.4	18.1	56.5	11.1	4.4	15.5	0.5	16.1	4.4	23.1	100
	簡易水道	0	0	0	1,629	1,629	0	1,629	1,931	1,898	3,829	42	3,871	3,726	968	10,194
	(%)	0.0	0.0	0.0	16.0	16.0	0.0	16.0	18.9	18.6	37.6	0.4	38.0	36.6	9.5	100
R5 (2023)	上水道	25,635	3,116	28,751	52,708	81,459	40,037	121,496	25,255	9,250	34,505	1,127	35,632	9,153	50,711	216,992
	(%)	11.8	1.4	13.2	24.3	37.5	18.5	56.0	11.6	4.3	15.9	0.5	16.4	4.2	23.4	100
	簡易水道	0	0	0	1,662	1,662	0	1,662	1,960	1,843	3,803	67	3,870	3,728	992	10,252
	(%)	0.0	0.0	0.0	16.2	16.2	0.0	16.2	19.1	18.0	37.1	0.7	37.7	36.4	9.7	100
	計	25,635	3,116	28,751	54,370	83,121	40,037	123,158	27,215	11,093	38,308	1,194	39,502	12,881	51,703	227,244
	(%)	11.3	1.4	12.7	23.9	36.6	17.6	54.2	12.0	4.9	16.9	0.5	17.4	5.7	22.8	100



※ 昭和59年度の簡易水道の「表流水」は、内訳データがないため、グラフでは便宜的に「自流」に算入した。

6 管路延長

令和5年度の総管路延長のうち、上水道では前年度に比べ約40.3km増加した。これは、硬質塩化ビニル管が約18km、石綿セメント管が約10km減少し、ダクトイル鋳鉄管が約37km、ポリエチレン管が約34km増加した影響が大きい。簡易水道は、前年度に比べ約10.2km増加し、これは硬質塩化ビニル管の増が主である。

石綿セメント管については、前年度に比べ、上水道で約10.2km(4.7%)減少し、簡易水道では約1.2km(1.2%)減少した。簡易水道は、上水道に比べ、石綿セメント管の全管路延長に対する残存率が高く、更新率は低い。とはいえ、上水道の更新ペースも近年鈍化傾向にある。

ダクトイル鋳鉄管は上水道の総延長のうち約4割を占めており、近年その増加率は小さいものの、着実に増加している。また、ポリエチレン管も同様に増加している。これは、管路を更新する際に、耐震管であるダクトイル鋳鉄管を主に基幹管路など重要な部分に使用し、高密度ポリエチレン管を耐震適合管として配水支管などそれ以外の部分で使用しているためと考えられる。

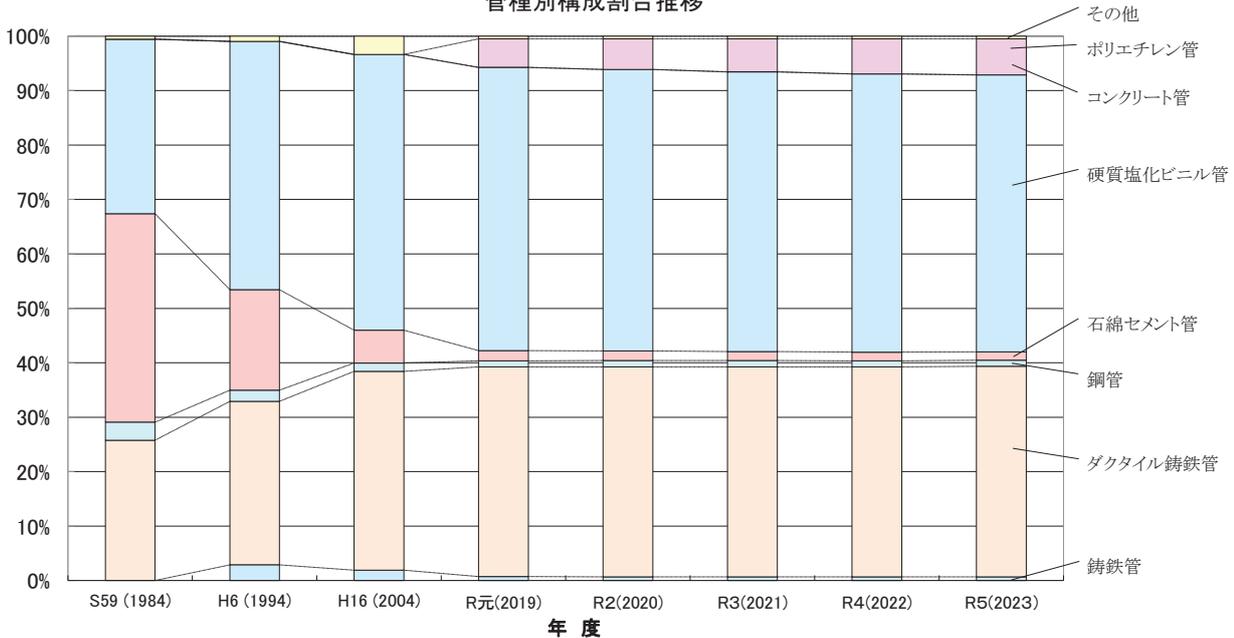
簡易水道は硬質塩化ビニル管が主な管種であるが、上水道と同様にダクトイル鋳鉄管の延長が増加傾向にある。

管種別管路延長(※昭和59年度は簡易水道の資料なし)

区分	年度	S59(1984)		H6(1994)		H16(2004)		R元(2019)		R2(2020)		R3(2021)		R4(2022)		R5(2023)	
		管路延長(m)	割合C%	管路延長(m)	割合C%	管路延長(m)	割合C%	管路延長(m)	割合C%	管路延長(m)	割合C%	管路延長(m)	割合C%	管路延長(m)	割合C%	管路延長(m)	割合C%
鑄鉄管	上水道	-	-	309,684	3.3	266,865	2.2	85,073	0.6	83,013	0.6	81,922	0.6	80,900	0.6	78,197	0.5
	簡易水道	-	-	36,267	1.4	14,991	0.6	27,477	1.9	27,477	1.8	29,725	2.0	27,417	1.8	27,417	1.8
	合計	-	-	345,951	2.9	281,856	1.9	112,550	0.7	110,490	0.7	111,647	0.7	108,317	0.7	105,614	0.7
ダクトイル鋳鉄管	上水道	1,654,538	25.8	3,338,475	35.2	4,958,768	40.7	5,929,183	40.6	5,937,109	40.7	5,953,107	40.7	5,966,550	40.7	6,004,023	40.8
	簡易水道	-	-	279,738	10.9	439,061	16.8	270,730	18.3	278,173	18.2	277,698	18.3	278,249	18.3	281,130	18.4
	合計	-	-	3,618,213	30.0	5,397,829	36.5	6,199,913	38.5	6,215,282	38.6	6,230,805	38.6	6,244,799	38.6	6,285,153	38.7
鋼管	上水道	212,441	3.3	206,467	2.2	193,694	1.6	164,956	1.1	165,964	1.1	166,171	1.1	165,034	1.1	165,030	1.1
	簡易水道	-	-	39,635	1.5	33,573	1.3	18,010	1.2	18,295	1.2	17,643	1.2	18,359	1.2	17,512	1.1
	合計	-	-	246,102	2.0	227,267	1.5	182,966	1.1	184,259	1.1	183,814	1.1	183,393	1.1	182,542	1.1
石綿セメント管	上水道	2,457,855	38.3	1,686,655	17.8	614,531	5.0	253,669	1.7	237,836	1.6	226,332	1.5	216,642	1.5	206,418	1.4
	簡易水道	-	-	536,227	21.0	275,207	10.5	43,865	3.0	44,391	2.9	43,982	2.9	42,958	2.8	41,732	2.7
	合計	-	-	2,222,882	18.5	889,738	6.0	297,534	1.8	282,227	1.8	270,314	1.7	259,600	1.6	248,150	1.5
硬質塩化ビニル管	上水道	2,057,767	32.1	3,851,036	40.6	5,718,753	47.0	7,359,148	50.4	7,277,763	49.9	7,260,111	49.6	7,234,266	49.3	7,215,613	49.0
	簡易水道	-	-	1,641,829	64.2	1,770,716	67.8	1,008,856	68.2	1,048,162	68.6	1,035,734	68.2	1,036,479	68.1	1,048,530	68.5
	合計	-	-	5,492,865	45.6	7,489,469	50.7	8,368,004	52.0	8,325,925	51.7	8,295,845	51.3	8,270,745	51.1	8,264,143	50.9
コンクリート管	上水道	3,550	10.6	2,875	0.0	1,225	0.0	4,965	0.0	4,965	0.0	4,965	0.0	4,966	0.0	4,966	0.0
	簡易水道	-	-	130	0.0	3,379	0.1	197	0.0	192	0.0	192	0.0	192	0.0	192	0.0
	合計	-	-	3,005	0.0	4,604	0.0	5,162	0.0	5,157	0.0	5,157	0.0	5,158	0.0	5,158	0.0
ポリエチレン管	上水道	-	-	-	-	-	-	751,250	5.1	814,375	5.6	883,242	6.0	943,810	6.4	977,984	6.6
	簡易水道	-	-	-	-	-	-	90,581	6.1	90,252	5.9	94,136	6.2	97,476	6.4	93,239	6.1
	合計	-	-	-	-	-	-	841,831	5.2	904,627	5.6	977,378	6.0	1,041,286	6.4	1,071,223	6.6
その他	上水道	33,538	0.5	89,321	0.9	420,917	3.5	61,593	0.4	59,965	0.4	60,952	0.4	60,837	0.4	61,113	0.4
	簡易水道	-	-	24,499	1.0	74,405	2.8	18,706	1.3	20,099	1.3	20,428	1.3	20,311	1.3	21,849	1.4
	合計	-	-	113,820	0.9	495,322	3.3	80,299	0.5	80,064	0.5	81,380	0.5	81,148	0.5	82,962	0.5
合計	上水道	6,419,689	100.0	9,484,513	100.0	12,174,753	100.0	14,609,837	100.0	14,580,990	100.0	14,636,802	100.0	14,673,005	100.0	14,713,344	100.0
	簡易水道	-	-	2,558,325	100.0	2,611,332	100.0	1,478,422	100.0	1,527,041	100.0	1,519,538	100.0	1,521,441	100.0	1,531,602	100.0
	合計	-	-	12,042,838	100.0	14,786,085	100.0	16,088,259	100.0	16,108,031	100.0	16,156,340	100.0	16,194,446	100.0	16,244,946	100.0

※平成23年度以前において、「ポリエチレン管」は「その他」に含まれる。

管種別構成割合推移



※1 上水道及び簡易水道の合計。ただし、昭和59年度は上水道のみ。

※2 平成23年度以前において、「ポリエチレン管」は「その他」に含まれる。

7 上水道事業及び水道用水供給事業の耐震化状況

(1) 基幹管路の耐震化状況

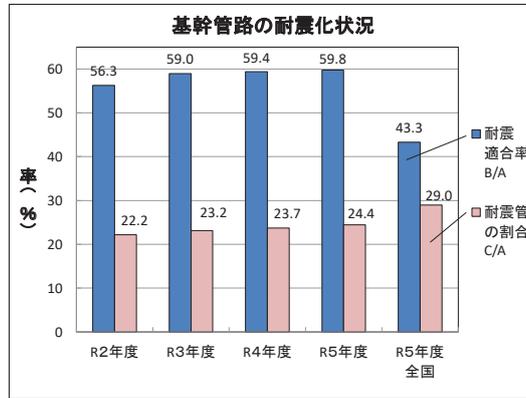
令和5年度の基幹管路の耐震適合率は前年度比0.4ポイント増、耐震管率は前年度比0.7ポイント増となった。

基幹管路の延長は前年度と同程度だが、耐震管の延長が約12km伸びていることから、既設基幹管路の布設替えをDIPなどの耐震管で行っているものと考えられる。

全国平均と比較すると、基幹管路の耐震適合率は、全国平均43.3%よりも16.5ポイント高く、基幹管路の総延長に対する耐震管の割合は、全国平均29.0%よりも4.6ポイント低い状況である。

耐震適合性のある管に占める耐震管の割合を比較すると、全国の66.9%と比べ、当県では40.8%と低い。

	基幹管路の 総延長 A (km)	耐震適合性のある管 の延長 B (km)		耐震 適合率 B/A (%)	耐震管 の割合 C/A (%)
		耐震管 の延長 C (km)			
R2年度	1,673.6	942.1	371.2	56.3	22.2
R3年度	1,594.0	940.0	369.1	59.0	23.2
R4年度	1,594.8	947.0	377.7	59.4	23.7
R5年度	1,595.9	954.0	389.6	59.8	24.4
R5年度 全国	115,923.8	50,181.0	33,576.8	43.3	29.0



(2) 浄水施設の耐震化状況

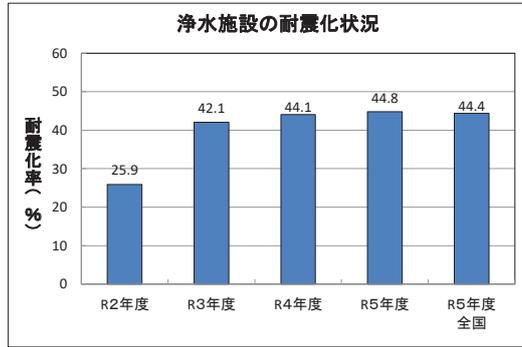
令和5年度の浄水施設の耐震化率は、前年度比0.7ポイント増の44.8%となった。

全国の耐震化率と比較すると福島県は0.4ポイント高く、全国平均並みとなっている。

しかしながら、40事業体のうち24事業体は耐震化率が0となっており、水道事業によって耐震化の進行状況に差がある状況である。

一般的に、浄水施設は耐震化工事の際に施設を停止させる必要があることから、管路や配水池と比べると耐震化が進んでいない状況にある。

	全施設能力 A (m ³ /日)	耐震化能力 B (m ³ /日)	耐震化率 B/A (%)
R2年度	990,710	256,732	25.9
R3年度	1,000,180	421,032	42.1
R4年度	999,680	440,832	44.1
R5年度	999,080	447,432	44.8
R5年度 全国	68,083,991	30,246,652	44.4



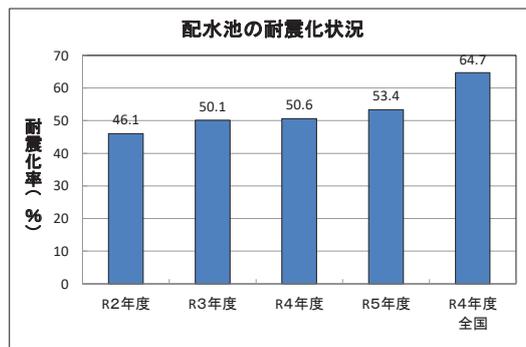
(3) 配水池の耐震化状況

令和5年度の配水池の耐震化率は、前年度比2.8ポイント増の53.4%となった。これは、比較的規模の大きい一部の事業体において耐震化率が上昇したことによるもので、ほとんどの事業体では配水池の耐震化はあまり進んでいない。

配水池の耐震化は、浄水施設と同様計画的な設備投資を進めていく必要がある。

また、全国平均64.7%と比較すると11.3ポイント低く、全国の水準を大きく下回っている状況である。

	全施設容量 A (m ³)	耐震化容量 B (m ³)	耐震化率 B/A (%)
R2年度	610,354	281,132	46.1
R3年度	602,605	302,123	50.1
R4年度	596,970	302,223	50.6
R5年度	604,938	323,099	53.4
R4年度 全国	41,218,248	26,660,295	64.7



第4章 財務状況

1 上水道事業の財務状況

(1) 収益的収支

令和5年度における上水道事業の収入総額は467億1,485万円で、前年度と比較して6億84万円（1.3%）増加している。内訳をみると、特別利益が10億5,180万円（577.4%）増加しているが、給水収益は2億2,393万円（0.6%）減少、他会計補助金は1億2,051万円（10.9%）の減少している。

支出総額は416億8,333万円で2億3,986円（0.6%）減少している。これは委託費が2億3,552万円（4.3%）増、減価償却費が1億1,873万円（0.7%）増加した一方、人件費が1億998万円（-2.7%）減、支払利息が1億4,300万円（9.1%）減少したことが主な要因である。

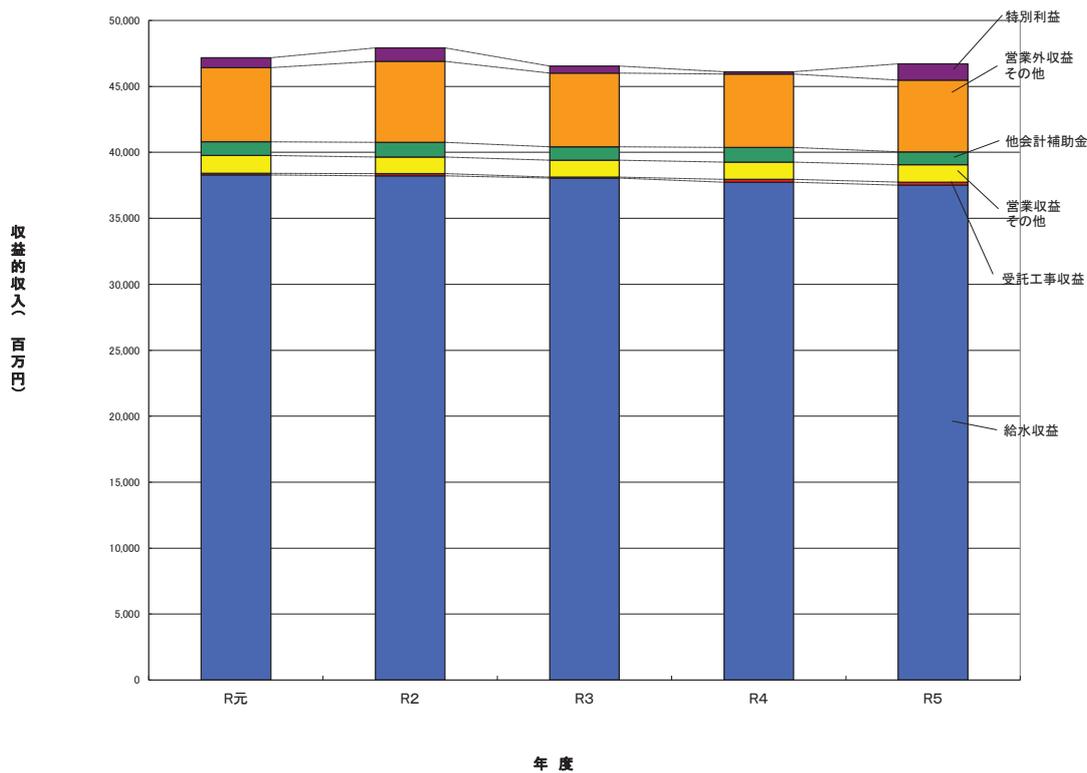
一部の事業体では、他会計補助金等により純損失を避けている状況であるが、収支差引は50億3,152万円の純利益となっている。純利益は、昨年度から8億4,071万円（20.1%）増加した。

下記表の中で、給水収益及び支払利息が一貫して減少傾向を示しており、給水収益の減少を支払利息の抑制で補うことにより、収支のバランスを取っていることが読み取れる。

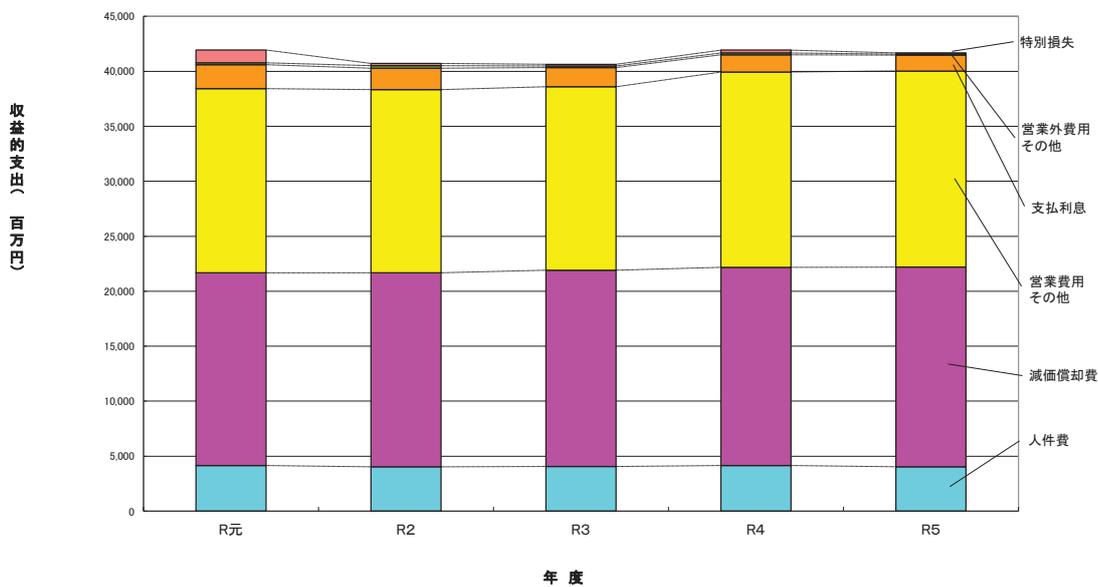
収益的収支の推移(県内合計)

区 分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	金額	有収水量 1m ³ 当たり								
(収入の部)	千円	円								
営業収益										
給水収益	38,285,371	214.6	38,213,085	212.9	38,058,228	214.5	37,739,849	215.3	37,515,924	215.7
受託工事収益	124,432	0.7	171,721	1.0	75,807	0.4	212,570	1.2	231,504	1.3
その他	1,353,174	7.6	1,270,243	7.1	1,265,273	7.1	1,317,334	7.5	1,316,745	7.6
小計	39,762,977	222.9	39,655,049	220.9	39,399,308	222.0	39,269,753	224.0	39,064,173	224.6
営業外収益										
他会計補助金	1,036,469	5.8	1,110,027	6.2	1,022,727	5.8	1,100,720	6.3	980,206	5.6
その他	5,612,916	31.5	6,136,853	34.2	5,580,150	31.4	5,561,379	31.7	5,436,517	31.3
小計	6,649,385	37.3	7,246,880	40.4	6,602,877	37.2	6,662,099	38.0	6,416,723	36.9
特別利益	755,954	4.2	1,020,599	5.7	537,313	3.0	182,158	1.0	1,233,956	7.1
収入合計	47,168,316	264.4	47,922,528	267.0	46,539,498	262.3	46,114,010	263.1	46,714,852	268.6
(支出の部)	千円	円								
営業費用										
人件費	4,139,141	23.2	4,043,626	22.5	4,055,068	22.9	4,144,480	23.6	4,034,502	23.2
減価償却費	17,533,138	98.3	17,641,330	98.3	17,862,592	100.7	18,035,270	102.9	18,154,002	104.4
その他	16,749,242	93.9	16,652,033	92.8	16,683,679	94.0	17,749,101	101.3	17,847,000	102.6
小計	38,421,521	215.4	38,336,989	213.6	38,601,339	217.5	39,928,851	227.8	40,035,504	230.2
営業外費用										
支払利息	2,172,074	12.2	1,945,914	10.8	1,750,954	9.9	1,571,760	9.0	1,428,758	8.2
その他	187,074	1.0	244,730	1.4	132,363	0.7	165,279	0.9	86,562	0.5
小計	2,359,148	13.2	2,190,644	12.2	1,883,317	10.6	1,737,039	9.9	1,515,320	8.7
特別損失	1,142,126	6.4	188,335	1.0	156,719	0.9	257,304	1.5	132,506	0.8
支出合計	41,922,795	235.0	40,715,968	226.9	40,641,375	229.0	41,923,194	239.2	41,683,330	239.6
収支差引	5,245,521	29.4	7,206,560	40.2	5,898,123	33.2	4,190,816	23.9	5,031,522	28.9

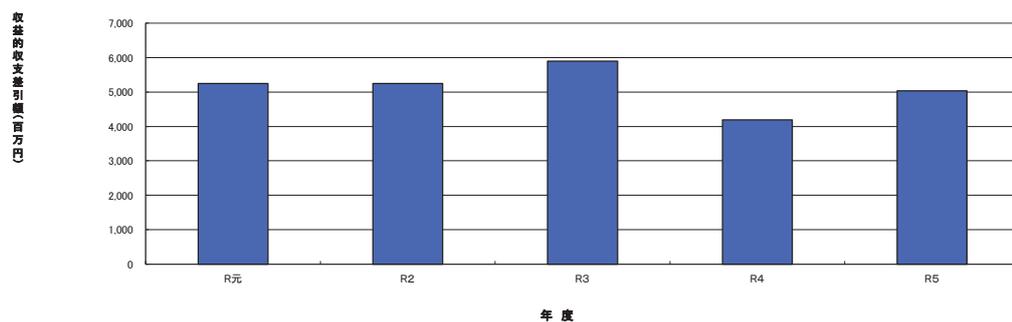
収益的收入



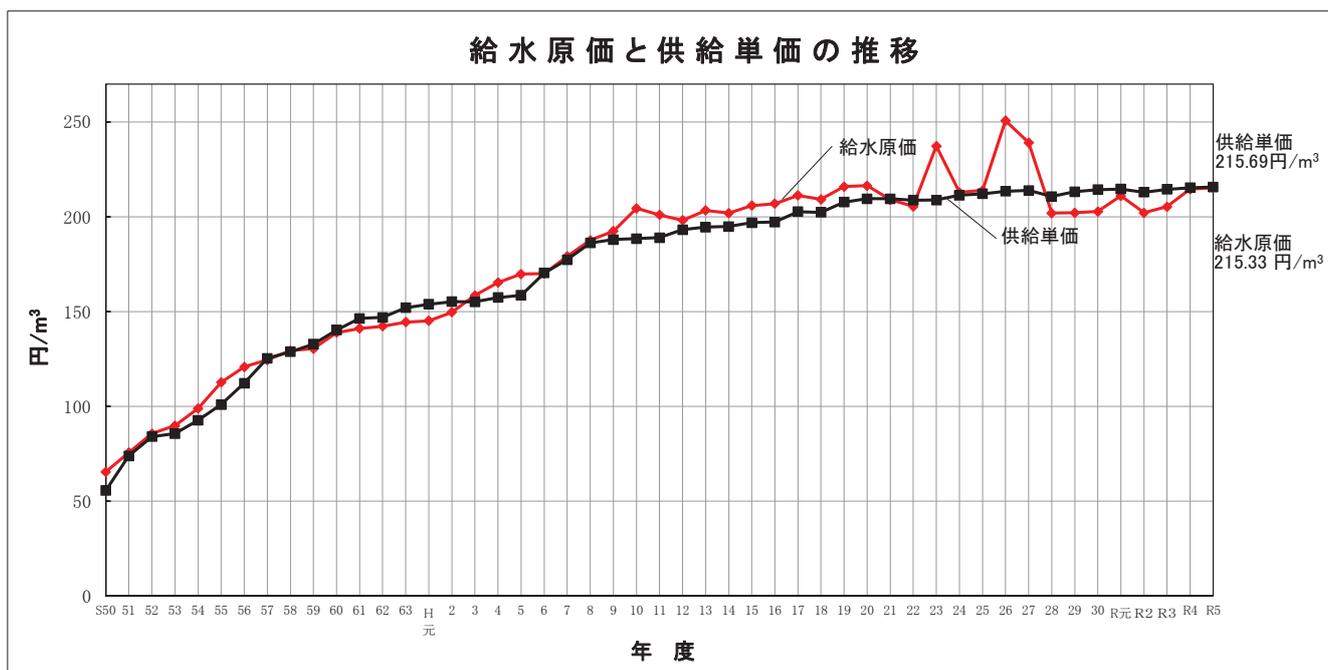
収益的支出



収益的収支差引額の推移



給水原価と供給単価の推移



給水原価と供給単価の推移

年 度	S55	S60	H2	H7	H12	H17	R元	R2	R3	R4	R5	
A 年間有収水量(千m³)	132,590	161,265	187,540	201,447	209,330	201,118	178,401	179,478	177,444	175,277	173,938	
B 総費用(千円)	14,928,275	21,980,866	28,057,465	36,076,487	41,480,758	42,483,761	37,646,953	36,276,801	36,421,033	37,604,064	37,453,627	
C 給水収益(千円)	13,374,393	22,610,190	29,105,616	35,720,960	40,440,553	40,769,320	38,285,371	38,213,085	38,058,228	37,739,849	37,515,924	
B/A 給水原価(円/m³)	112.29	136.30	149.61	179.09	198.16	211.24	211.02	202.12	205.25	214.54	215.33	
C/A 供給単価(円/m³)	100.87	140.21	155.20	177.32	193.19	202.71	214.60	212.91	214.48	215.32	215.69	
料金回収率(%) (供給単価/給水原価×100)	89.83	102.87	103.74	99.01	97.49	95.96	101.70	105.34	104.50	100.36	100.17	
全国平均	給水原価(円/m³)	118.86	145.63	152.66	176.00	182.27	179.74	168.58	166.47	167.79	174.80	177.56
	供給単価(円/m³)	98.54	136.32	140.07	158.84	172.55	175.21	174.01	166.64	171.85	170.48	173.90
	料金回収率(%)	82.90	93.61	91.75	90.25	94.67	97.48	103.22	100.10	102.42	97.53	97.94

(2) 資本的収支

資本的収支をみると、収入は、前年度から9億8,571万円(9.2%)の増となった。これは企業債が8億8,360万円増加していることが主な要因である。

支出は11億4,165万円(3.6%)の増となっており、改良事業費が前年度より14億8,610万円増加したことが主な要因である。

新設・拡張事業費は前年度より減少したものの、更新需要はこれからますます増加していくことから、アセットマネジメントを踏まえた更新計画と適正な水準の料金収入を基にした利益の確保が重要になる。

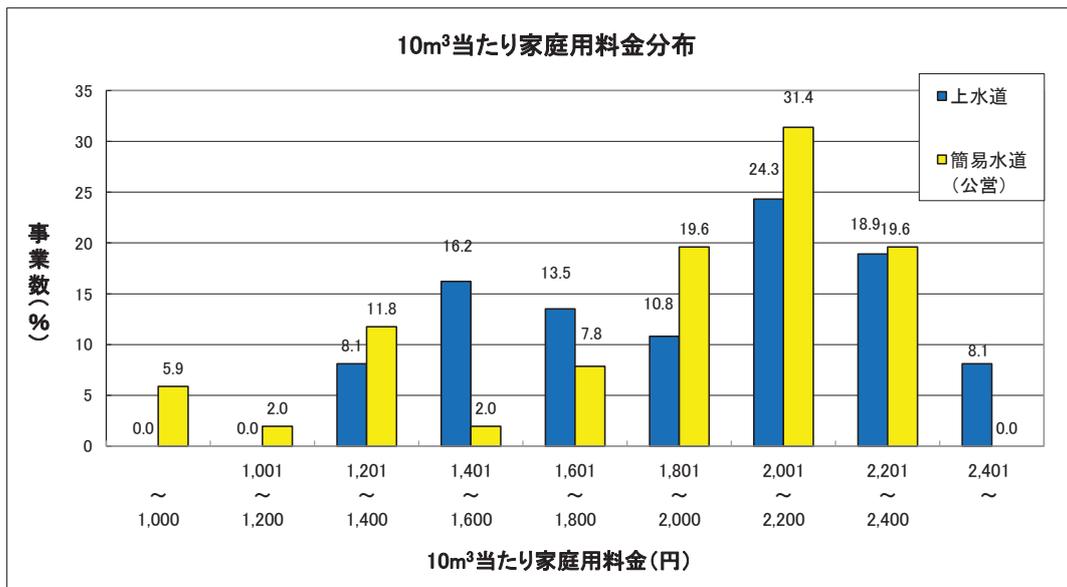
(単位:千円)

項目	年度	R元	R2	R3	R4	R5
(資 本 的 収 入)						
企 業 債		5,846,200	6,948,400	7,555,200	5,936,400	6,820,000
政 府 債		2,508,600	3,179,400	2,618,400	2,888,300	3,364,000
公 庫 債		3,058,200	3,592,000	4,419,300	2,882,700	2,687,800
N T T		0	0	0	0	0
そ の 他		279,400	177,000	517,500	165,400	768,200
借 換 債		0	0	0	0	0
他 会 計 出 資 金 補 助 金		1,748,349	2,290,564	2,079,523	1,683,987	1,766,494
他 会 計 借 入 金		17,000	0	0	0	46,000
国 庫 (県) 補 助 金		1,312,894	1,808,401	1,932,864	1,035,425	1,282,040
工 事 負 担 金		1,134,692	1,056,166	904,410	1,116,269	1,311,218
そ の 他		779,460	964,467	527,575	671,939	433,790
計		10,838,595	13,067,998	12,999,572	10,444,020	11,659,542
うち翌年度へ繰り越される支出の財源充当額		41,909	430,402	0	-217,767	12,050
前年度許可債で今年度収入分		0	0	0	0	0
純 計		10,796,686	12,637,596	12,999,572	10,661,787	11,647,492
(資 本 的 支 出)						
新 設 ・ 拡 張 事 業 費		2,123,369	2,236,301	3,228,523	2,126,361	1,862,588
改 良 事 業 費		17,540,632	20,123,158	20,914,146	19,533,768	21,019,872
企 業 債 償 還 金		9,600,174	9,478,268	9,640,695	9,566,003	9,289,465
他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金		38,361	38,381	55,402	68,223	55,444
そ の 他		77,202	518,064	34,919	103,584	312,220
計		29,379,738	32,394,172	33,873,685	31,397,939	32,539,589
(収 支 差 引)		△ 18,583,052	△ 19,756,576	△ 20,874,113	△ 20,736,152	△ 20,892,097

2 水道料金

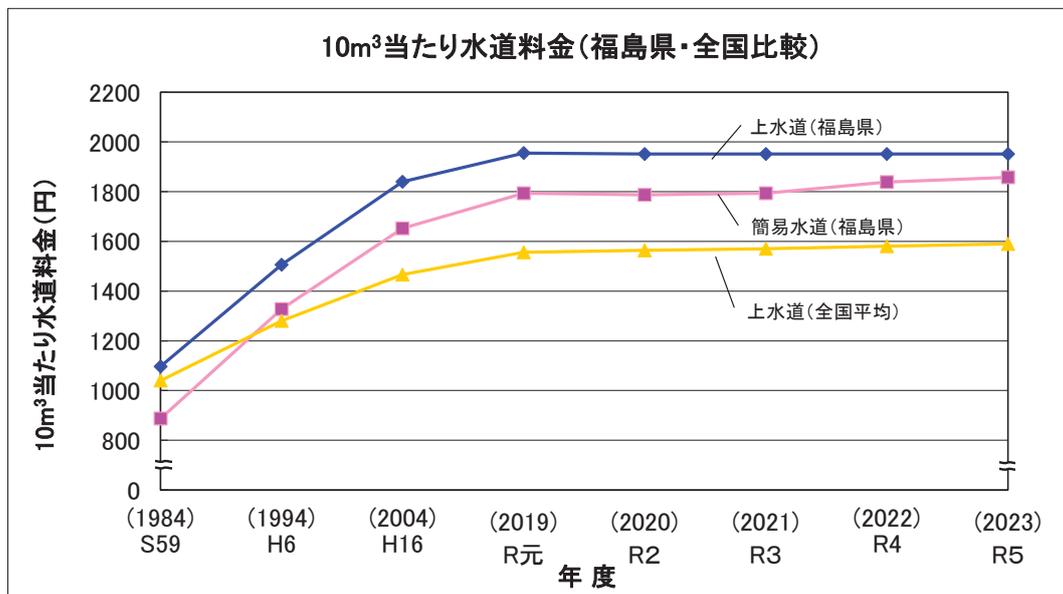
(1) 料金分布 (10m³当たり、メーター使用料含む。)

10m ³ 当たり家庭用料金 (円)		～ 1,000	1,001 ～ 1,200	1,201 ～ 1,400	1,401 ～ 1,600	1,601 ～ 1,800	1,801 ～ 2,000	2,001 ～ 2,200	2,201 ～ 2,400	2,401 ～	事業数 合計
上水道	事業数	0	0	3	6	5	4	9	7	3	37
	%	0.0	0.0	8.1	16.2	13.5	10.8	24.3	18.9	8.1	100.0
簡易水道 (公営)	事業数	3	1	6	1	4	10	16	10	0	51
	%	5.9	2.0	11.8	2.0	7.8	19.6	31.4	19.6	0.0	100.0
合計	事業数	3	1	9	7	9	14	25	17	3	88
	%	3.4	1.1	10.2	8.0	10.2	15.9	28.4	19.3	3.4	100.0



(2) 県内公営水道事業平均料金の年次推移 (10m³当たり、メーター使用料含む。)

		S59 (1984)	H6 (1994)	H16 (2004)	R元 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)
県内平均料金 (円/10m ³)	上水道	1,097	1,506	1,840	1,955	1,952	1,952	1,952	1,952
	簡易水道	887	1,328	1,653	1,794	1,787	1,794	1,838	1,858
上水道全国平均料金(円/10m ³)		1,040	1,280	1,467	1,556	1,564	1,570	1,581	1,590



(3) 上水道事業の給水原価及び費用分析

令和4年度の上水道1m³当たりの給水原価は、県平均で214.54円であり、前年度比9.29円(4.5%)の増加となっている。これは世界情勢の影響による燃料費高騰、資材価格上昇の影響により動力費や修繕費等が上昇したことが要因の一つである。

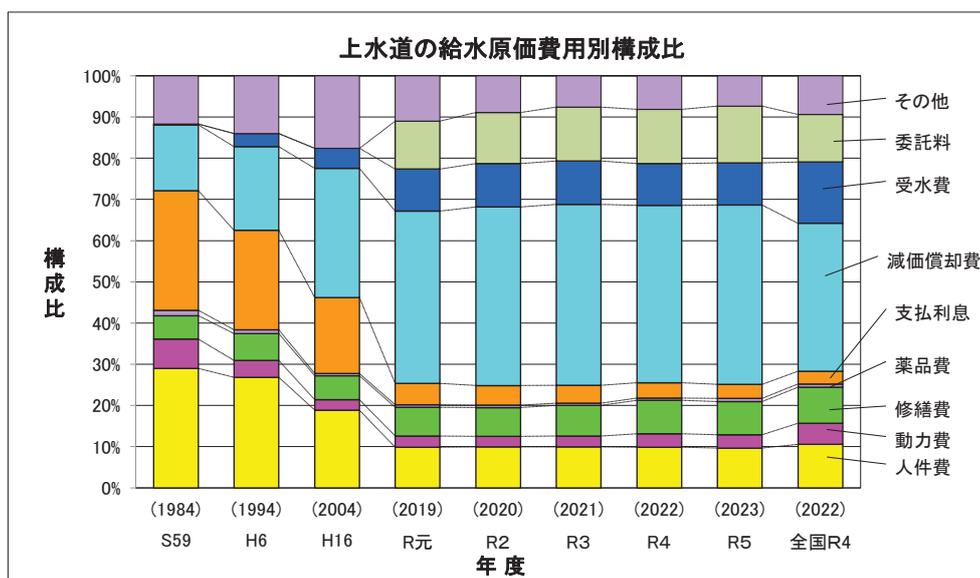
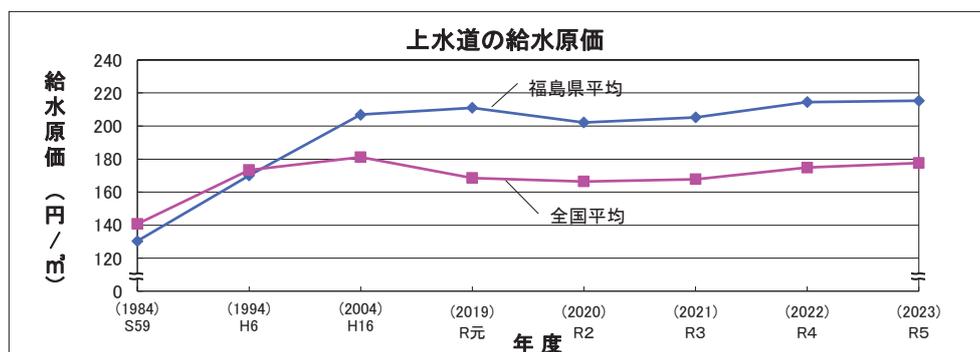
また、減価償却費の占める割合が最も高いのは全国と同じ傾向だが、当県はその割合がより高い。これは、当県は地理的要因により施設整備が全国と比べて非効率的であり、施設の整備・更新に多額の費用を要していることが影響しているためと考えられる。

また、給水原価が全国平均と比較して令和3年度で37.46円/m³(22.3%)高く、これは給水人口密度(給水区域内における人口密度)が低い、つまり上記のとおり施設整備が非効率にならざるを得ないことが原因となっている。

上水道給水原価及び費用内訳の推移

年 度		S59 (1984)	H6 (1994)	H16 (2004)	R元 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	
福 島 県 平 均	給水原価*(円/m ³)	130.38	170.01	206.90	211.02	202.12	205.25	214.54	215.33	
	内訳(%)	支払利息	29.00	24.17	18.43	5.18	4.78	4.31	3.75	3.43
		減価償却費	16.00	20.24	31.34	41.82	43.33	43.95	43.02	43.55
		人件費	29.00	26.86	18.86	9.87	9.93	9.98	9.89	9.68
		動力費	7.10	4.11	2.52	2.71	2.58	2.59	3.28	3.23
		受水費	0.20	3.22	4.84	10.20	10.50	10.49	10.14	10.20
		その他	18.70	21.40	24.01	30.22	28.88	28.68	29.92	29.91
全 国 平 均	給水原価(円/m ³)	140.70	173.36	181.15	168.58	166.47	167.79	174.81	177.56	
	内訳(%)	支払利息	22.9	17.7	13.2	4.3	3.9	3.5	3.1	2.9
		減価償却費	14.4	17.7	25.0	35.6	36.2	36.3	35.9	35.7
		人件費	22.0	21.1	17.6	11.3	11.3	11.0	10.6	10.6
		動力費	-	3.6	2.9	3.9	3.5	3.7	5.1	4.3
		受水費	12.3	14.3	17.1	15.5	15.1	15.3	14.9	14.8
		その他	28.4	25.6	24.2	29.4	30.0	30.2	30.4	31.7

*給水原価=(経常費用-(受託工事費+材料及び不用品売却原価+附帯事業費+長期前受金戻入))÷年間有収水量



3 水道整備費国庫及び県費補助実績

(単位:千円)

(1)生活基盤施設耐震化等交付金実績

	No	事業主体	事業名	令和5年度 事業費	交付基本額	交付額	交付率
※1	1	玉川村	飛地区域	389,183	343,524	137,409	4/10
※2	2	北塩原村	統合簡易水道	34,213	33,833	11,281	1/3
	3	金山町	統合簡易水道	35,448	21,623	8,648	4/10
	4	只見町	統合簡易水道	117,284	92,565	30,855	1/3
	5	南会津町	統合簡易水道(静川)	38,444	37,648	15,059	4/10
※3	6	南会津町	基幹改良(南郷)	16,457	15,993	6,397	4/10
	7	南会津町	基幹改良(中部)	18,944	16,360	6,544	4/10
	8	平田村	基幹改良	13,483	9,802	3,267	1/3
	9	磐梯町	基幹改良	37,850	21,183	7,060	1/3
	10	矢祭町	基幹改良(第2簡水)	19,533	17,600	4,400	1/4
	11	中島村	基幹改良	37,827	33,953	11,317	1/3
緊急時給水拠点確保等事業	12	伊達市	重要給水施設配水管	181,685	70,424	17,606	1/4
	13	本宮市	重要給水施設配水管	60,547	57,027	19,009	1/3
	14	国見町	重要給水施設配水管	54,465	32,000	8,000	1/4
	15	大玉村	重要給水施設配水管	58,311	36,300	12,100	1/3
	16	玉川村	重要給水施設配水管	90,367	58,630	14,657	1/4
	17	棚倉町	重要給水施設配水管	149,490	120,000	30,000	1/4
	18	会津若松市	重要給水施設配水管	157,150	88,041	22,010	1/4
	19	喜多方市	重要給水施設配水管	110,660	110,000	27,500	1/4
	20	会津坂下町	重要給水施設配水管	66,511	45,562	11,390	1/4
	21	いわき市	重要給水施設配水管	269,437	138,781	34,695	1/4
	22	南相馬市	重要給水施設配水管	349,903	311,120	77,780	1/4
※4	23	福島市	老朽管更新事業(ダクタイル 鋳鉄管)	133,939	113,009	28,252	1/4
	24	福島市	水管橋耐震化等事業	137,056	137,056	45,685	1/3
	25	須賀川市	水道管路緊急改善事業	109,989	108,000	36,000	1/3
	26	会津若松市	老朽管更新事業	274,659	168,966	56,322	1/3
	27	いわき市	水道管路緊急改善事業	53,464	45,569	15,190	1/3
※5	28	国見町	広域化促進地域上水道施設 整備費	20,059	9,900	3,300	1/3
	29	南会津町	水道施設再編推進事業	120,369	120,369	40,123	1/3
※6	30	会津若松市	水道事業におけるIoT・新技術活用推進 モデル事業(施工情報システム)	264	264	88	1/3
	31	会津若松市	水道事業におけるIoT・新技術活用推進 モデル事業(配水監視設備)	4,103	3,465	1,155	1/3
	計	31 件		3,161,094	2,418,567	743,099	

(単位:千円)

(2)簡易水道等施設整備費補助金実績

	No	事業主体	事業名	令和5年度 事業費	補助基本額	補助額	補助率
※ 3	1	福島市	基幹改良	24,178	24,178	6,044	1/4
	2	古殿町	基幹改良	21,691	21,000	7,000	1/3
	計	2件		45,869	45,178	13,044	

(3)水道水源開発等施設整備費補助金実績

	No	事業主体	事業名	令和5年度 事業費	補助基本額	補助額	補助率
※ 7	1	白河市	水道施設機能維持整備費(取水場 への止水壁の整備)	19,360	18,238	6,079	1/3
	2	いわき市	水道施設機能維持整備費(浄水場 への自家発電設備の整備)	14,190	7,319	1,829	1/4
	3	いわき市	水道施設機能維持整備費(浄水場 への防水壁の整備)	78,573	65,923	21,974	1/3
	計	3件		112,123	91,480	29,882	

※1 水道未普及地域解消事業

※2 簡易水道再編推進事業

※3 生活基盤近代化事業

※4 水道管路耐震化等推進事業

※5 水道事業運営基盤強化推進事業

※6 水道事業におけるIoT活用推進モデル事業

※7 水道水源開発施設整備費

(4) 国庫・県費補助金年度別一覧表〔その1〕

(単位:千円)

年 度	簡易水道	
	国庫補助金	
	件 数	金 額
昭 和	5町村	3,990
27	5件	
28	22市町村	12,750
	36件	
29	34市町村	20,250
	36件	
30	24市町村	21,650
	24件	
31	14市町村	21,700
	16件	
32	12市町村	21,100
	12件	
33	16市町村	22,750
	16件	
34	14市町村	23,380
	17件	
35	13市町村	30,100
	15件	
36	15市町村	27,120
	17件	
37	11市町村	25,000
	12件	
38	16市町村	42,163.5
	17件	
39	17市町村	70,940
	17件	
40	12市町村	22,081.5
	13件	
41	8市町村	35,079
	12件	
42	7市町村	4,017.5
	7件	
43	13市町村	67,499.0
	13件	
43	13市町村	67,499.0
	13件	
44	22市町村	97,994.0
	26件	

年 度	簡 易 水 道				上 水 道 (用水供給事業を含む)			
	国庫補助金		県費補助金		国庫補助金		県費補助金	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
45	12市町村	135,902	7町	9,562				
	13件		7件					
46	16市町村	170,577	3市町	8,339				
	16件		3件					
47	23市町村	278,656						
	23件							
48	19市町村	289,000	3市町村	7,510				
	20件		3件					
49	21市町村	337,000	8町村	32,927				
	21件		8件					
50	20市町村	510,000	9町村	40,486				
	20件		9件					
51	16市町村	580,000	7町村	73,202				
	16件		7件					
52	10市町村	428,000	6町村	84,018				
	10件		6件					
53	14市町村	488,432	8町村	93,253				
	14件		8件					
54	10市町村	639,218	7町村	151,800				
	10件		8件					
55	14市町村	536,521	10町村	112,185				
	14件		10件					
56	14市町村	435,772	8町村	78,824				
	17件		9件					
57	11市町村	358,216	6町村	69,798	9市町村	592,449		
	12件		7件		13件			
58	9市町村	370,843	3町村	28,070	7市町村	218,000		
	14件		4件		11件			
59	14市町村	583,514	4町村	39,481	7市町村企			
	20件		4件		11件			
60	15市町村	732,403	5町村	10,311	8市町村	990,059		
	21件		5件		11件			
61	16市町村	652,912	11町村	81,383	9市町村	1,631,171	1企業団	45,764
	27件		11件		12件		1件	

(4) 国庫・県費補助金年度別一覧表 [その2]

(単位:千円)

年 度	簡 易 水 道				上 水 道 (用 水 供 給 事 業 を 含 む)					
	国 庫 補 助 金		県 費 補 助 金		国 庫 補 助 金		NTT資金貸付金		県 費 補 助	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
62	15市町村 22件	599,796	10町村 12件	74,670	9市町村 15件	1,794,169	2縣市 2件	24,500	1企業団 1件	42,169
63	12市町村 19件	419,820	9町村 11件	60,621	11市町村 12件	2,326,834	2縣市企 3件	825,050	1企業団 1件	65,656
平成 元	13市町村 16件	524,210	9町村 10件	65,776	11市町村 12件	2,508,490	4縣市企 4件	1,303,462	1企業団 1件	61,332
2	14市町村 17件	812,449	10町村 10件	91,573	10市町村 11件	2,426,468	4縣市企 4件	789,016	1企業団 1件	113,325
3	12市町村 15件	1,385,337	10町村 10件	152,259	12市町村 18件	2,366,300	4縣市企 4件	674,909	1企業団 1件	263,030
4	13市町村 17件	879,256	8町村 10件	112,294	10町村 19件	4,153,447			1企業団 1件	371,148
5	21市町村 30件	1,099,278	9町村 11件	114,462	15市町村 23件	6,267,732			1企業団 1件	509,315
6	17市町村 22件	1,169,555	6町村 7件	78,276	19市町村 26件	5,498,504			1企業団 1件	404,333
7	17市町村 25件	950,296	7町村 11件	72,188	20市町村 26件	4,885,089			1企業団 1件	300,536
8	17市町村 27件	1,162,698	11町村 13件	107,781	20市町村企 27件	5,965,244			2企業団 3件	474,368
9	23市町村 29件	1,503,566	8町村 10件	145,124	21市町村企 28件	4,775,057			3企業団 4件	509,014
10	30市町村 45件	2,349,445	7町村 10件	150,851	34市町村企 49件	12,257,503			3企業団 5件	960,013
11	27市町村 38件	1,932,352	8町村 10件	130,045	31市町村企 45件	7,836,377			3企業団 5件	822,299
12	25市町村 34件	1,270,381	10町村 11件	113,693	27市町村企 38件	7,443,514			3企業団 5件	787,634
13	22市町村 32件	1,093,111	10町村 12件	100,028	24市町村企 33件	5,905,750			2企業団 4件	637,015
14	23市町村 31件	997,352	12町村 15件	75,021	27市町村企 37件	4,560,445	3企業団 3件	501,378	2企業団 4件	631,991
15	22市町村 33件	824,079	10町村 13件	73,321	24市町村企 29件	2,959,308			2企業団 4件	514,989
16	22市町村 33件	702,046	7町村 9件	53,675	22市町村企 30件	1,965,273			2企業団 4件	120,864
17	17市町村 28件	579,277	6市町 8件	39,346	17市町企 29件	2,072,614			2企業団 4件	290,692
18	16市町村 27件	556,578	5市町 7件	8,817	19市町村企 30件	1,423,918			2企業団 2件	163,229

(4) 国庫・県費補助金年度別一覧表〔その3〕

(単位:千円)

年 度	簡 易 水 道				上 水 道 (用水供給事業を含む)	
	国 庫 補 助 金		県 費 補 助 金		国 庫 補 助 金	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
19	13市町 20件	386,212	2町 4件	10,744	17市町村企 23件	552,001
20	14市町 20件	382,290	2町 4件	8,923	16市町村企 23件	285,557
21	13市町村 19件	317,202	3町村 5件	5,762	19市町村企 27件	1,819,806
22	14市町村 21件	363,354	2町村 2件	4,451	19市町村企 27件	598,744
23	16市町村 25件	571,547	2町村 2件	6,616	17市町村 26件	676,519
24	18市町村 27件	633,039	1町村 1件	2,366	9市町村 13件	302,917
25	19市町村 26件	824,306	1町村 1件	2,129	8市町村 12件	422,800
26	20市町村 30件	698,315	1町村 1件	2,129	8市町村 12件	337,798

(5) 国庫・県費補助金、生活基盤施設耐震化等交付金年度別一覧表

(単位:千円)

年 度	国庫補助金				生活基盤施設耐震化等交付金		県費補助金	
	簡易水道		上水道 (用水供給事業を含む)					
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
27	7市町村 9件	158,610	3市 4件	410,170	26市町村 34件	723,647	1村 1件	1,535
28	3市 5件	108,096	3市 4件	394,269	28市町村 40件	803,949	1村 1件	2,129
29	17市町村 23件	701,903	2市 2件	7,633	14市町村 19件	529,196	1村 1件	2,129

(6) 国庫補助金、生活基盤施設耐震化等交付金年度別一覧表〔その1〕

(単位:千円)

年 度	国庫補助金				生活基盤施設耐震化等交付金	
	簡易水道		上水道 (用水供給事業を含む)			
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
30	3市町 3件	135,587	— —	— —	21市町村 28件	830,020
令和 元	— —	— —	— —	— —	20市町村 24件	673,199

(6) 国庫補助金、生活基盤施設耐震化等交付金年度別一覧表〔その2〕

(単位:千円)

年 度	国庫補助金				生活基盤施設耐震化等交付金	
	簡易水道		上水道 (用水供給事業を含む)			
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
令和 2	— —	—	— —	—	22市町村 26件	699,254
令和 3	— —	—	— —	—	20市町村 26件	660,719
令和 4	2町 2件	14,026	—	—	22市町村 31件	581,893
令和 5	2市町 2件	13,044	2市 3件	29,882	21市町村 31件	743,099